

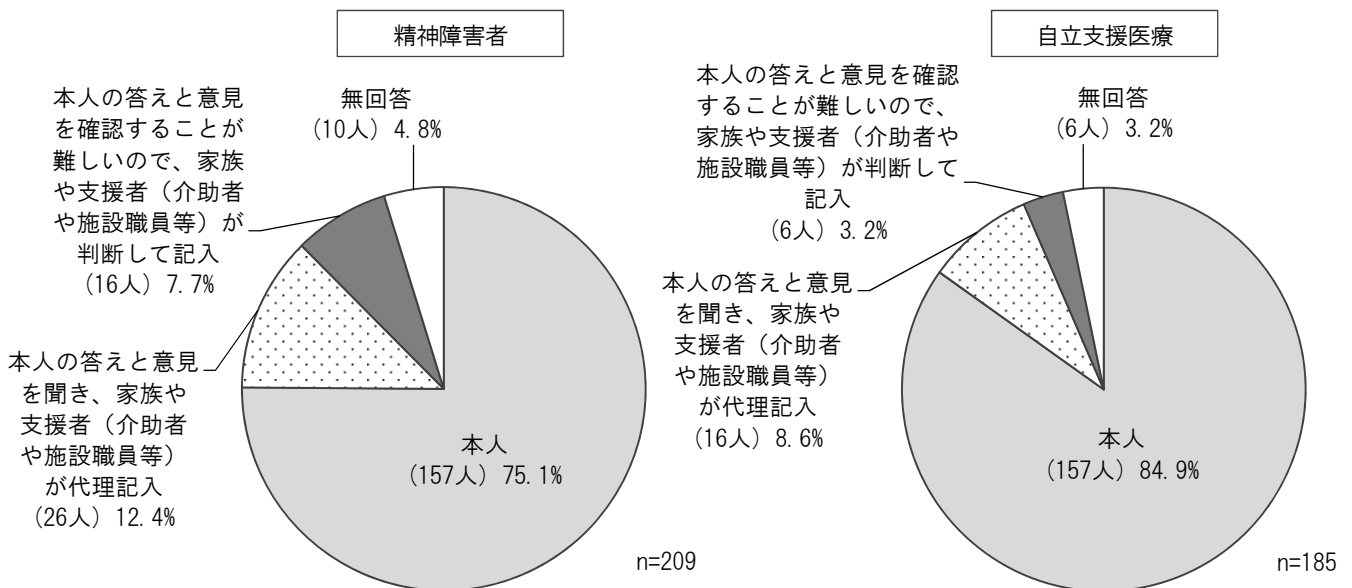
第5章 障害者福祉に関する調査結果 （C-1 精神障害者・C-2 自立支援医療利用者）

1 調査票の記入者

問31 この調査票に記入していただいたのはどなたですか。（1つに○）

調査票の記入者は、「本人」が『精神障害者』が 75.1%、『自立支援医療受給者』が 84.9% となっています。

図 調査票の記入者

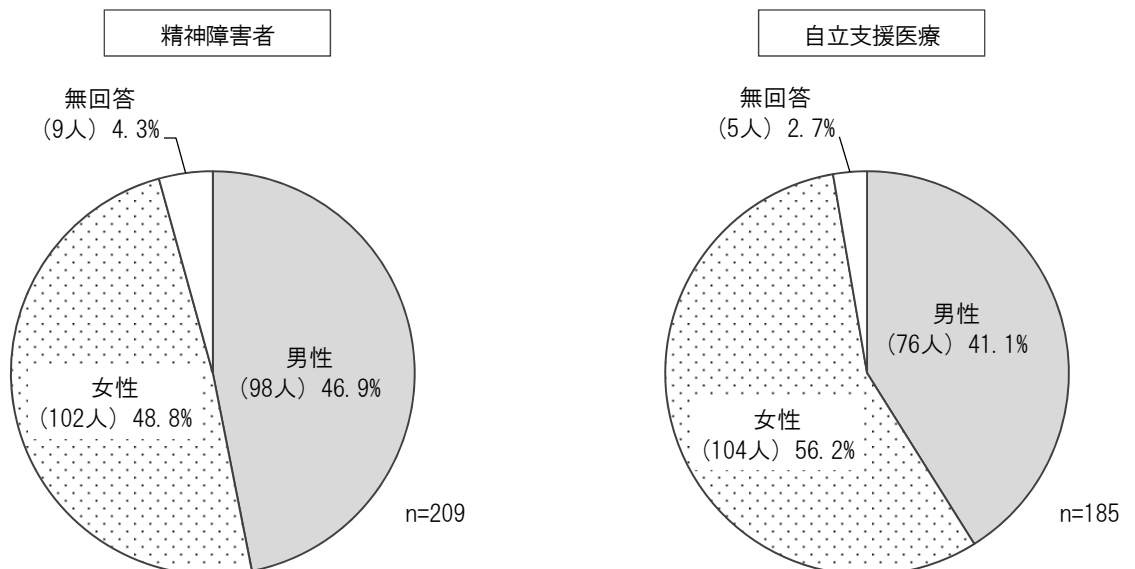


2 回答者の属性

問32 あなたの性別をお答えください。（1つに○）

性別は、「女性」が『精神障害者』は 48.8%、『自立支援医療受給者』は 56.2% とも高くなっています。

図 性別



問33 あなたの年齢（平成28年10月1日現在の満年齢）はおいくつですか。

年齢は、『精神障害者』『自立支援医療受給者』ともに「40～49歳」が最も高く、それぞれ32.1%、25.4%となっています。

図 年齢

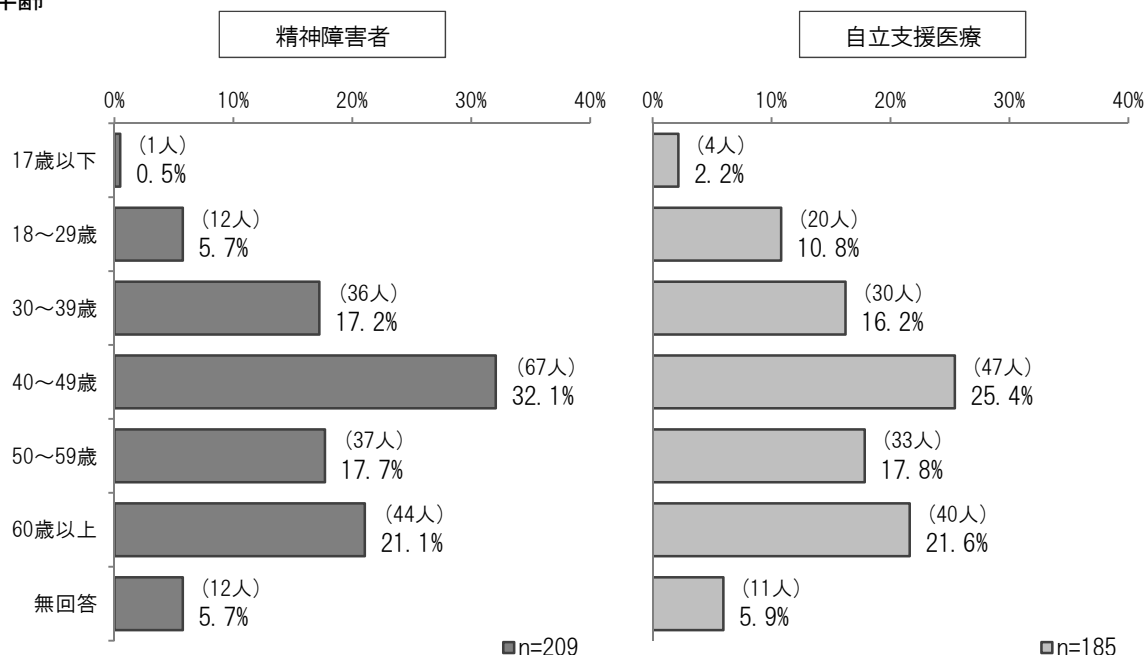


表 【精神障害者】年齢／性別

	全体		男性		女性		無回答	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
17歳以下	1	0.5	0	0.0	1	1.0	0	0.0
18～29歳	12	5.7	5	5.1	7	6.9	0	0.0
30～39歳	36	17.2	19	19.4	17	16.7	0	0.0
40～49歳	67	32.1	29	29.6	37	36.3	1	11.1
50～59歳	37	17.7	25	25.5	12	11.8	0	0.0
60歳以上	44	21.1	17	17.3	27	26.5	0	0.0
無回答	12	5.7	3	3.1	1	1.0	8	88.9
全体	209	100.0	98	100.0	102	100.0	9	100.0

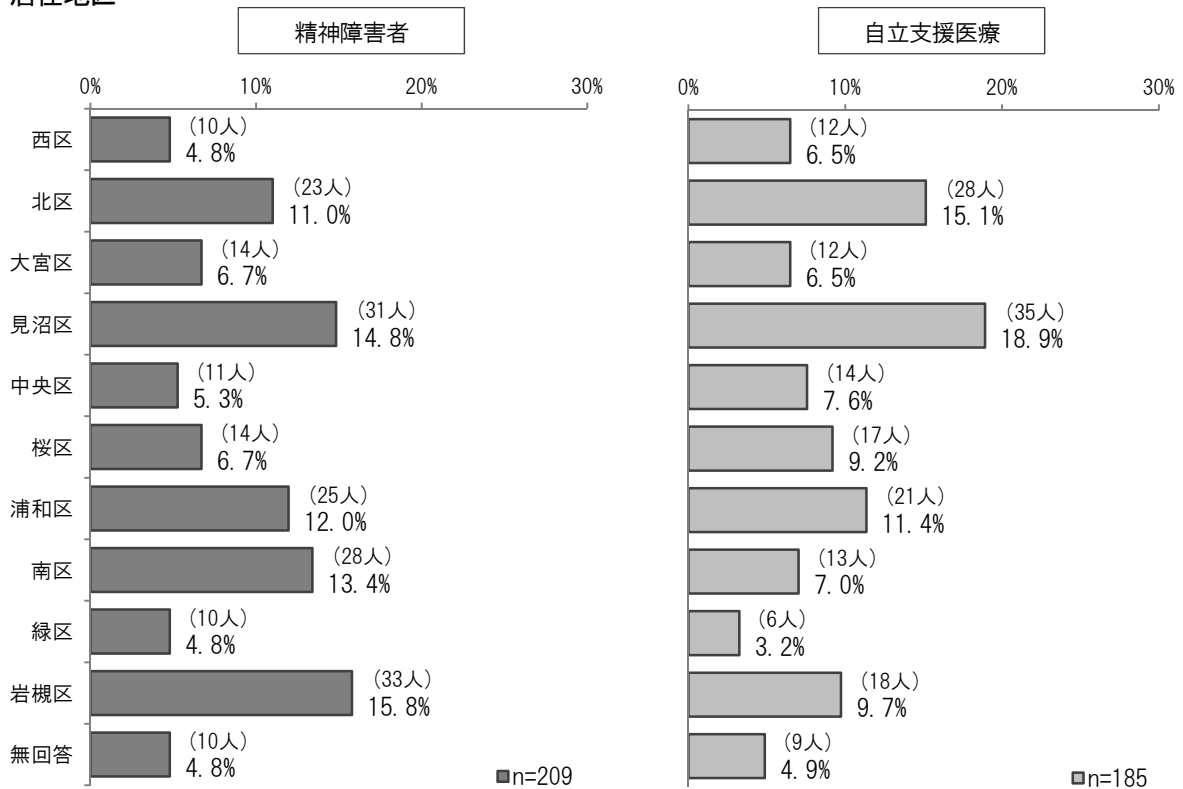
表 【自立支援医療】年齢／性別

	全体		男性		女性		無回答	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
17歳以下	4	2.2	2	2.6	2	1.9	0	0.0
18～29歳	20	10.8	4	5.3	16	15.4	0	0.0
30～39歳	30	16.2	15	19.7	15	14.4	0	0.0
40～49歳	47	25.4	24	31.6	23	22.1	0	0.0
50～59歳	33	17.8	19	25.0	14	13.5	0	0.0
60歳以上	40	21.6	12	15.8	28	26.9	0	0.0
無回答	11	5.9	0	0.0	6	5.8	5	100.0
全体	185	100.0	76	100.0	104	100.0	5	100.0

問 34 あなたが現在住んでいる地区（市外に住んでいる方はその前に市内に住んでいた地区）はどこですか。（1つに○）

居住地区は、『精神障害者』は「岩槻区」が 15.8%、『自立支援医療受給者』は「見沼区」が 18.9%で最も高くなっています。

図 居住地区

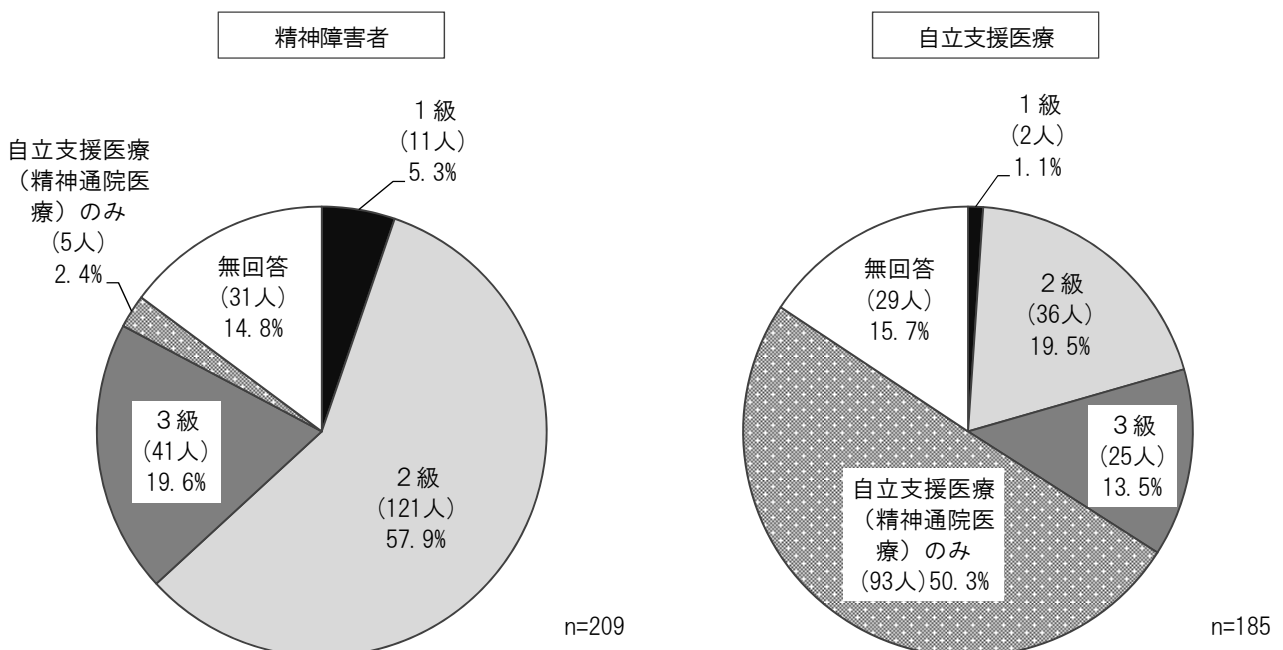


問 35 あなたが、現在お持ちの障害者手帳の等級は何級ですか。

(1) 精神障害者保健福祉手帳

精神障害者保健福祉手帳を持っている人は、『精神障害者』は「2級」が 57.9%で最も高く、『自立支援医療受給者』は「自立支援医療のみ」が 50.3%となっています。

図 精神障害者保健福祉手帳の等級



（2）療育手帳

療育手帳を持っている人は、『精神障害者』が 1.4%、『自立支援医療受給者』が 4.9%となっています。

表 療育手帳の等級

	精神障害者		自立支援医療	
	人数	%	人数	%
㊤	0	0.0	2	1.1
A	0	0.0	2	1.1
B	3	1.4	1	0.5
C	0	0.0	4	2.2
無回答	206	98.6	176	95.1
全体	209	100.0	185	100.0

（3）身体障害者手帳（総合等級）

身体障害者手帳を持っている人は、『精神障害者』が 9.1%、『自立支援医療受給者』が 4.3%となっています。

表 身体障害者手帳（総合等級）

	精神障害者		自立支援医療	
	人数	%	人数	%
1級	1	0.5	1	0.5
2級	9	4.3	2	1.1
3級	5	2.4	2	1.1
4級	2	1.0	2	1.1
5級	1	0.5	1	0.5
6級	1	0.5	0	0.0
無回答	190	90.9	177	95.7
全体	209	100.0	185	100.0

（3）-1 【身体障害者手帳をお持ちの方】 どのような障害がありますか。（すべてに○）

身体障害の種類は、以下のとおりです。

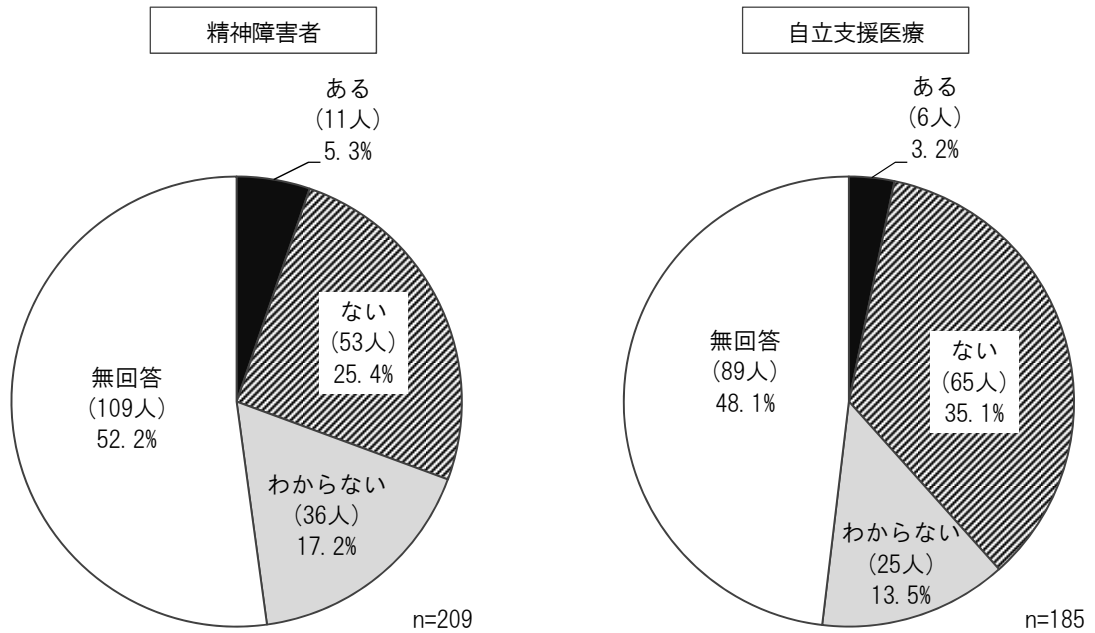
表 身体障害の種類（複数回答）

	精神障害者		自立支援医療	
	人数	%	人数	%
目が不自由（視覚障害）	1	5.3	0	0.0
耳が不自由（聴覚・平衡機能障害）	1	5.3	0	0.0
言葉が不自由（言語障害など）	0	0.0	2	25.0
全身性障害（肢体不自由）	3	15.8	1	12.5
半身まひ（肢体不自由）	0	0.0	0	0.0
上肢障害（肢体不自由）	1	5.3	0	0.0
下肢障害（肢体不自由）	5	26.3	2	25.0
心臓やじん臓、呼吸器など（内部障害）	4	21.1	2	25.0
無回答	6	31.6	1	12.5
全体	19	100.0	8	100.0

（4）高次脳機能障害はありますか。（1つに〇）

高次脳機能障害の有無で「ある」は、『精神障害者』が5.3%、『自立支援医療受給者』が3.2%となっています。

図 高次脳機能障害の有無



3 住む場所について

問1 あなたは、どこで生活していますか。（1つに○）

生活の場所は、『精神障害者』『自立支援医療受給者』ともに「本人または家族の持ち家」が最も高く、それぞれ51.7%、57.8%となっています。

表 生活の場

	精神障害者		自立支援医療	
	人数	%	人数	%
本人または家族の持ち家	108	51.7	107	57.8
民間の賃貸住宅・借家・借間・アパート	57	27.3	54	29.2
県営・市営住宅、公社・公団の賃貸住宅	16	7.7	17	9.2
グループホーム・生活ホーム	3	1.4	1	0.5
福祉施設	3	1.4	3	1.6
病院	8	3.8	0	0.0
その他	2	1.0	0	0.0
無回答	12	5.7	3	1.6
全体	209	100.0	185	100.0

➡ 問2へ

問2 【問1で「本人または家族の持ち家」「民間の賃貸住宅・借家・借間・アパート」「県営・市営住宅、公社・公団の賃貸住宅」「その他」と答えた方】あなたは、誰と一緒に生活していますか。（すべてに○）

一緒に生活している人は、『精神障害者』『自立支援医療受給者』ともに「父または母」が最も高く、それぞれ45.4%、37.6%となっています。

図 一緒に生活している人（複数回答）

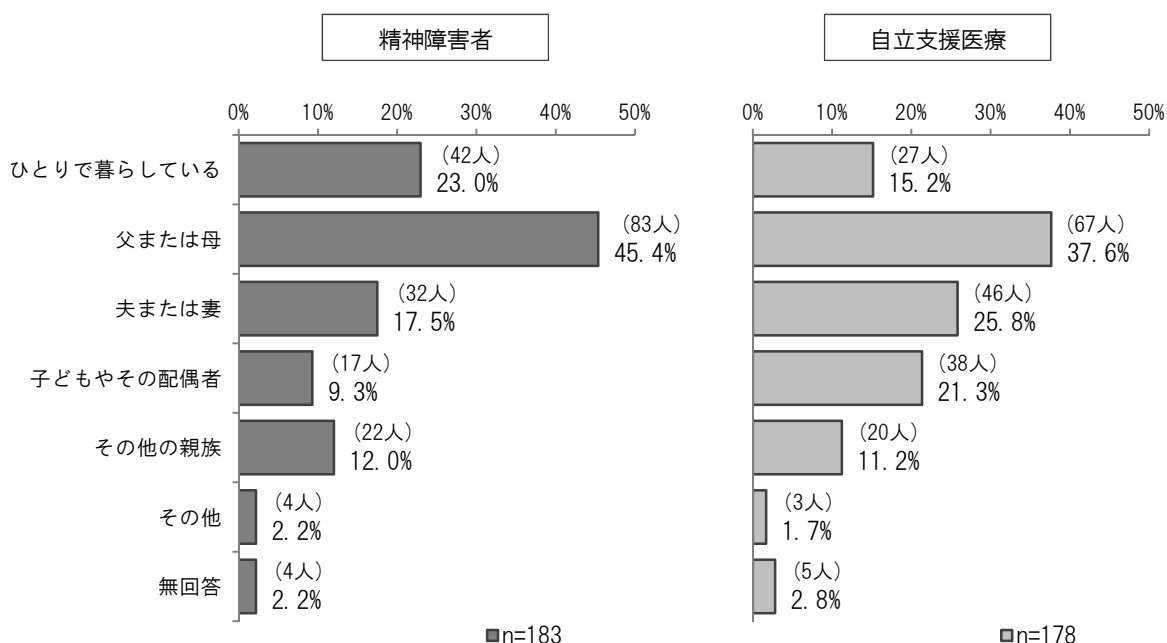


表 【精神障害者】一緒に生活している人（複数回答）／年齢別

	17歳以下		18～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
ひとりで暮らしている	0	0.0	0	0.0	5	14.7	15	25.4	8	22.9	14	42.4
父または母	1	100.0	10	83.3	23	67.6	28	47.5	14	40.0	3	9.1
夫または妻	0	0.0	1	8.3	3	8.8	11	18.6	8	22.9	7	21.2
子どもやその配偶者	0	0.0	0	0.0	1	2.9	5	8.5	3	8.6	5	15.2
その他の親族	1	100.0	5	41.7	5	14.7	4	6.8	5	14.3	1	3.0
その他	0	0.0	0	0.0	1	2.9	0	0.0	1	2.9	2	6.1
無回答	0	0.0	0	0.0	1	2.9	1	1.7	1	2.9	1	3.0
全体	1	100.0	12	100.0	34	100.0	59	100.0	35	100.0	33	100.0

表 【自立支援医療】一緒に生活している人（複数回答）／年齢別

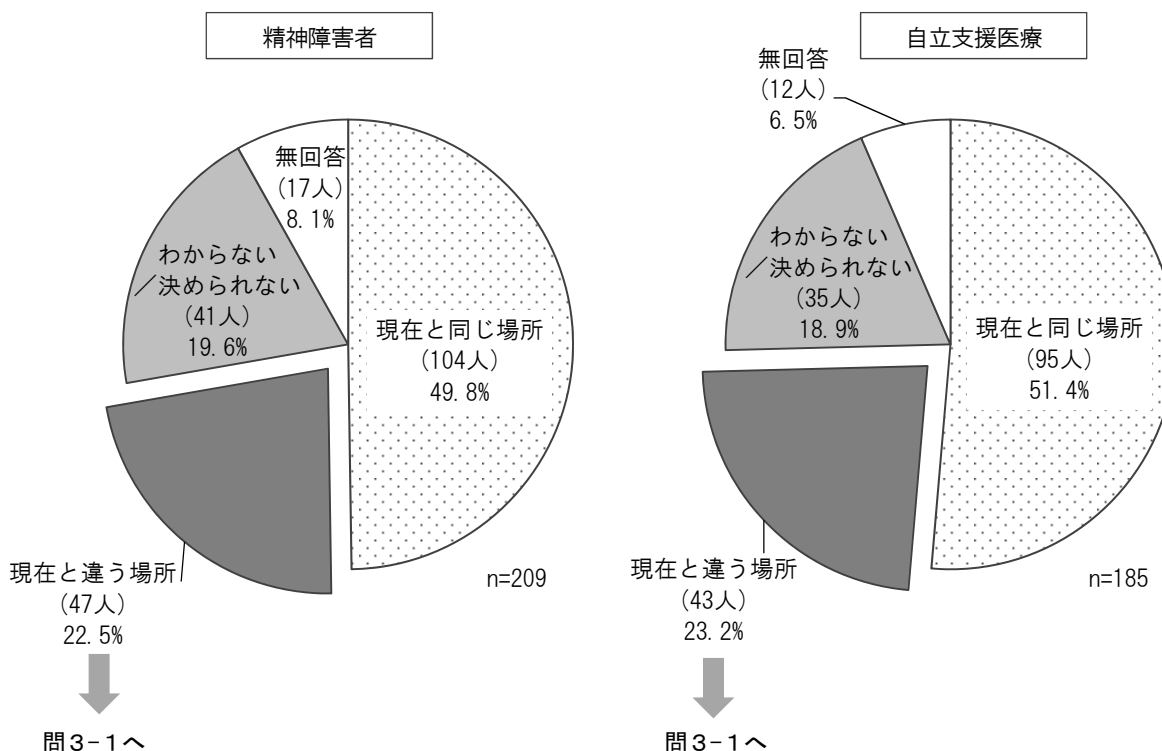
	17歳以下		18～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60歳以上	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
ひとりで暮らしている	0	0.0	1	5.0	3	10.0	6	12.8	7	21.9	5	14.3
父または母	2	66.7	16	80.0	17	56.7	20	42.6	8	25.0	1	2.9
夫または妻	1	33.3	1	5.0	3	10.0	11	23.4	9	28.1	19	54.3
子どもやその配偶者	0	0.0	0	0.0	4	13.3	14	29.8	10	31.3	9	25.7
その他の親族	0	0.0	5	25.0	2	6.7	6	12.8	1	3.1	5	14.3
その他	0	0.0	1	5.0	1	3.3	1	2.1	0	0.0	0	0.0
無回答	0	0.0	1	5.0	2	6.7	0	0.0	2	6.3	0	0.0
全体	3	100.0	20	100.0	30	100.0	47	100.0	32	100.0	35	100.0

※年齢の無回答は掲載を省略

問3 あなたは、今後（未成年の方は成人になったら）どこで暮らしたいですか。（1つに○）

今後暮らしたい場所は、『精神障害者』『自立支援医療受給者』ともに「現在と同じ場所」が最も高く、それぞれ49.8%、51.4%となっています。

図 今後暮らしたい場所



問3-1 「現在と違う場所」と答えた方は、どこで暮らしたいですか。（1つに○）

現在と違う場所と回答した『精神障害者』47人の暮らしたい場所は、「本人または家族の持ち家」が42.6%、「民間の賃貸住宅・借家・借間・アパート」が23.4%となっています。『自立支援医療受給者』43人は、「民間の賃貸住宅・借家・借間・アパート」が32.6%、「本人または家族の持ち家」が30.2%となっています。

表 【現在と違う場所で暮らしたい人】希望する場所

	精神障害者		自立支援医療	
	人数	%	人数	%
本人または家族の持ち家	20	42.6	13	30.2
民間の賃貸住宅・借家・借間・アパート	11	23.4	14	32.6
県営・市営住宅、公社・公団の賃貸住宅	9	19.1	9	20.9
グループホーム・生活ホーム	5	10.6	2	4.7
福祉施設	1	2.1	0	0.0
病院	0	0.0	2	4.7
その他	1	2.1	2	4.7
無回答	0	0.0	1	2.3
全体	47	100.0	43	100.0

➡ 問4へ

**問4 【問3-1で「グループホーム・生活ホーム」と答えた方にお聞きします。】
グループホーム・生活ホームをどの地域で利用することを考えていますか。
（1つに○）**

グループホーム・生活ホームで暮らしたいと回答した人は、『精神障害者』が5人、『自立支援医療受給者』が2人となっており、希望する地域は以下のとおりとなっています。

表 【グループホーム・生活ホームで暮らしたい人】希望する地域

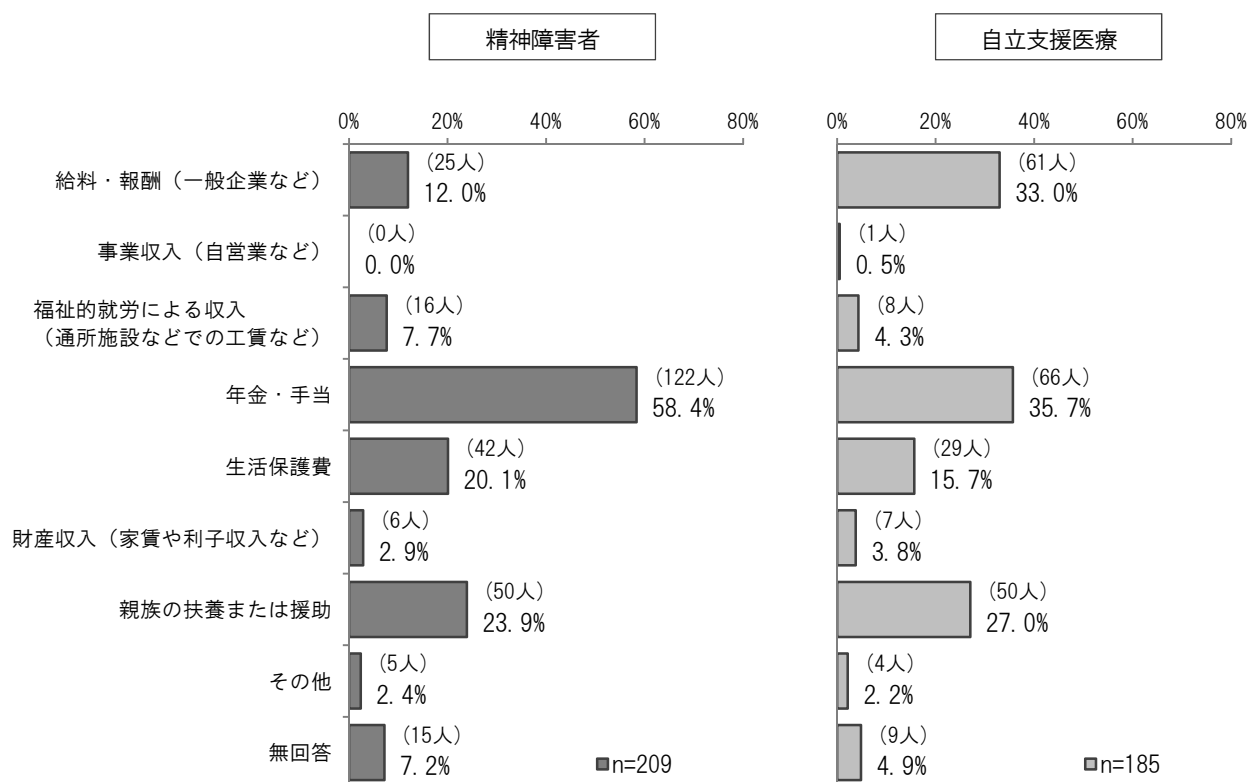
	精神障害者		自立支援医療	
	人数	%	人数	%
さいたま市北部（北区・大宮区）	1	20.0	1	50.0
さいたま市南部（中央区・浦和区・南区）	0	0.0	0	0.0
さいたま市東部（見沼区・緑区・岩槻区）	1	20.0	1	50.0
さいたま市西部（西区・桜区）	1	20.0	0	0.0
さいたま市内ならどこでもよい	1	20.0	0	0.0
さいたま市外	0	0.0	0	0.0
わからない／決めていない ／考えていない	1	20.0	0	0.0
無回答	0	0.0	0	0.0
全体	5	100.0	2	100.0

4 収入の状況について

問5 あなたの収入は次のうちどれですか。（すべてに○）

主な収入は、『精神障害者』『自立支援医療受給者』ともに「年金・手当」が最も高く、それぞれ58.4%、35.7%となっています。次いで『精神障害者』は「親族の扶養または援助」が23.9%、一方で『自立支援医療受給者』は「給料・報酬（一般企業など）」が33.0%で高くなっています。

図 収入（複数回答）

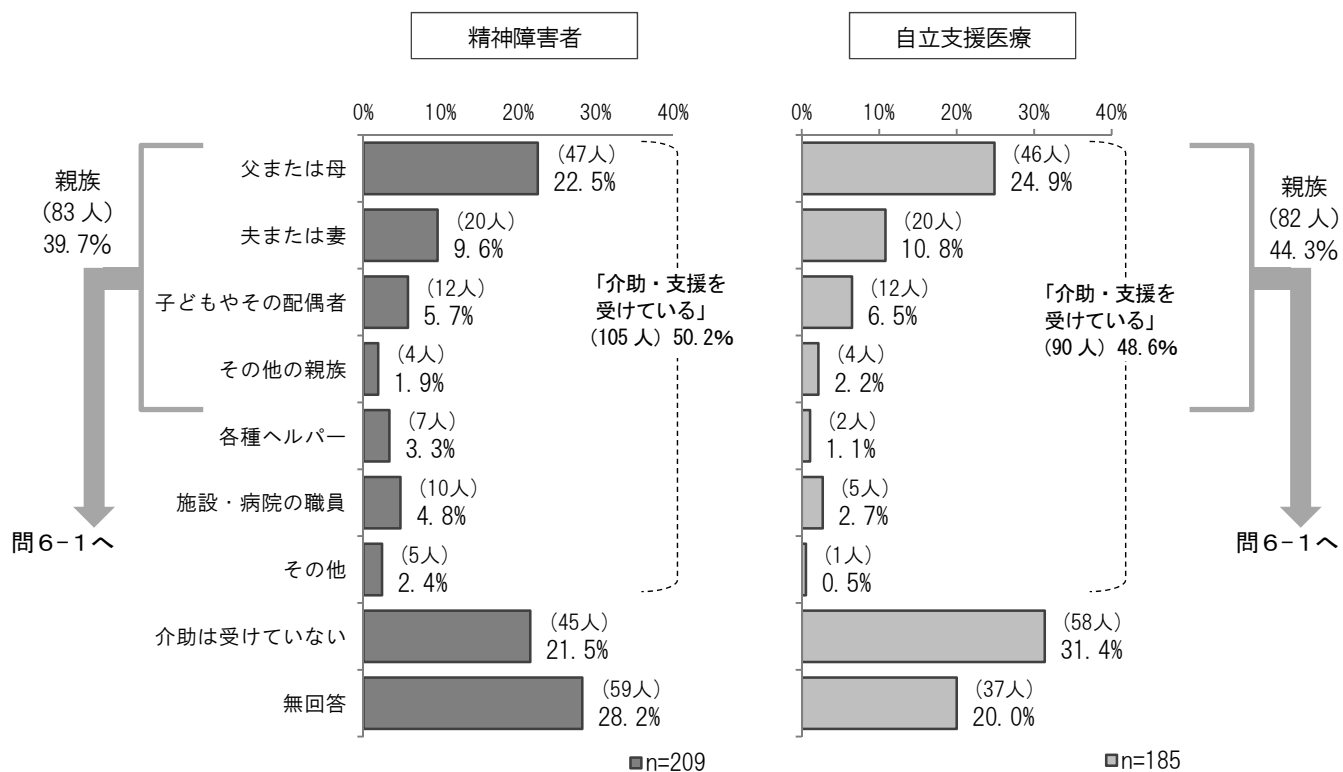


5 日常生活の状況について

問6 あなたの主な介助者（支援者）は、どなたですか。（2つまで○）

主な介助・支援を受けている方は、『精神障害者』が50.2%、『自立支援医療受給者』が48.6%となっており、主な介助者は「父または母」が、それぞれ22.5%、24.9%となっています。

図 主な介助者（支援者）（複数回答）



※「介助・支援を受けている」=100%－「介助は受けていない」－「無回答」

問6-1 【問6で「父または母」「夫または妻」「子どもやその配偶者」「その他の親族」と答えた方にお聞きします。】

あなたが主な介助者（支援者）から介助（支援）を受けられないときはどうしますか。（1つに○）

主に親族から介助・支援を受けている『精神障害者』83人の受けられないときの対処は、「ひとりでなんとかする」が27.7%、「別居している他の家族・親族に頼む」が18.1%となっています。『自立支援医療受給者』82人の受けられないときの対処は、「ひとりでなんとかする」が26.8%、「別居している他の家族・親族に頼む」が24.4%となっています。

表 【主に親族から介助・支援の受けている人】
主な介助者（支援者）から介助（支援）受けられないときの対処

	精神障害者		自立支援医療	
	人数	%	人数	%
同居している他の家族・親族に頼む	14	16.9	15	18.3
別居している他の家族・親族に頼む	15	18.1	20	24.4
近所の人や知人に頼む	1	1.2	1	1.2
ボランティアに頼む	1	1.2	1	1.2
ホームヘルパーに依頼する	8	9.6	3	3.7
ガイドヘルパーに依頼する	0	0.0	0	0.0
訪問看護師に依頼する	2	2.4	1	1.2
施設や病院などに依頼する	12	14.5	8	9.8
その他	2	2.4	2	2.4
ひとりでなんとかする	23	27.7	22	26.8
無回答	5	6.0	9	11.0
全体	83	100.0	82	100.0

問7 あなたは毎日の生活の中で次のようなことが不安なく自分でできますか。
（それぞれ1つに○）

日常生活動作の状況で、『精神障害者』の「ひとりでできる」は「家の中での移動」が82.3%、「身のまわりのこと」が70.8%で高くなっています。一方、「すべてに支援が必要」は「銀行等での手続き」が19.6%、「お金の管理」が16.7%となっています。『自立支援医療受給者』の「ひとりでできる」は「家の中での移動」が95.1%、「身のまわりのこと」が83.8%で高くなっています。一方、「すべてに支援が必要」は「お金の管理」が14.1%、「銀行等での手続き」が11.9%、となっています。

図 日常生活動作の状況

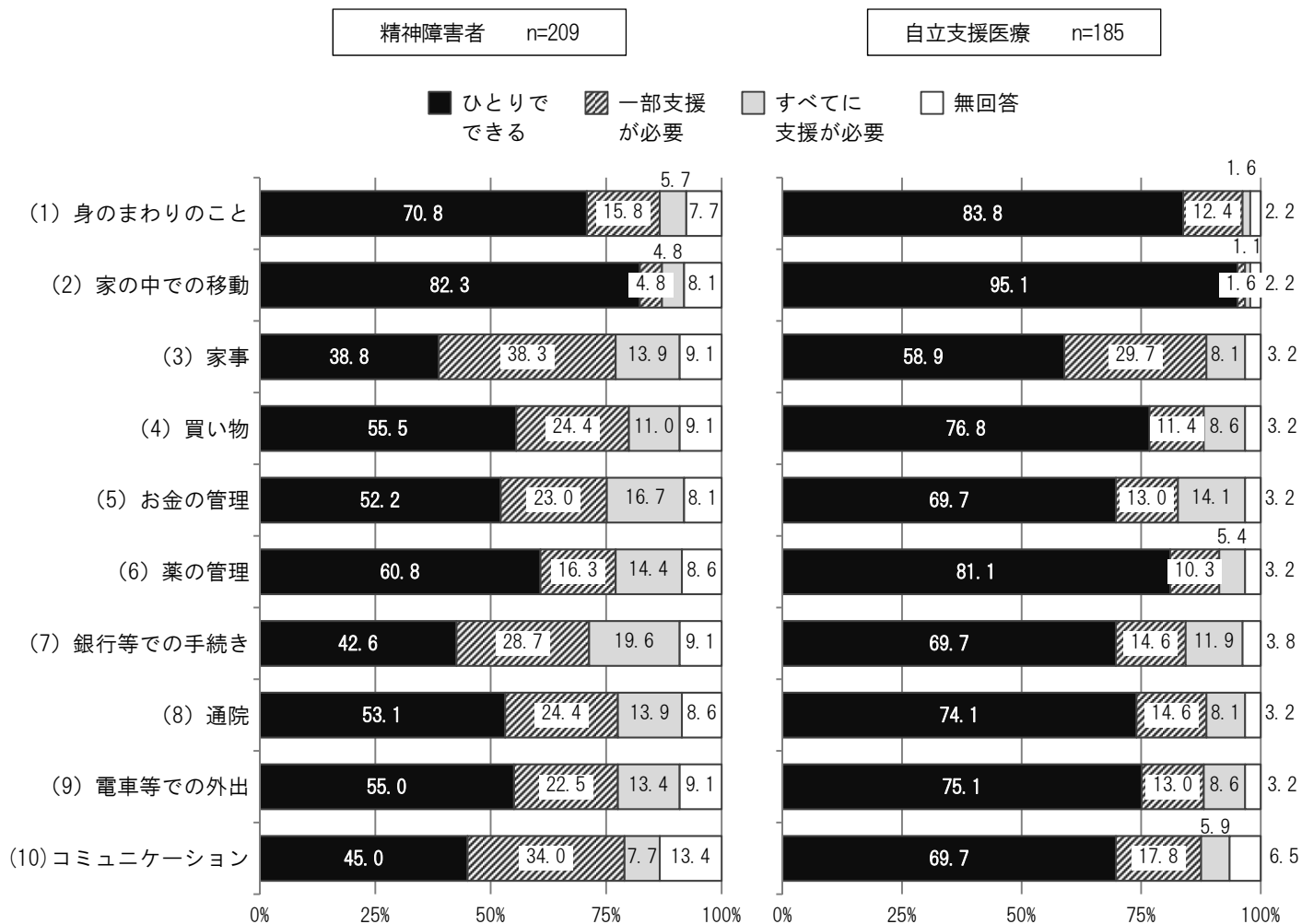


表 【精神障害者】日常生活動作の状況

	回答者数（人）	ひとりできる		一部支援が必要		すべてに支援が必要		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
(1) 身のまわりのこと	209	148	70.8	33	15.8	12	5.7	16	7.7
(2) 家の中での移動	209	172	82.3	10	4.8	10	4.8	17	8.1
(3) 家事	209	81	38.8	80	38.3	29	13.9	19	9.1
(4) 買い物	209	116	55.5	51	24.4	23	11.0	19	9.1
(5) お金の管理	209	109	52.2	48	23.0	35	16.7	17	8.1
(6) 薬の管理	209	127	60.8	34	16.3	30	14.4	18	8.6
(7) 銀行等での手続き	209	89	42.6	60	28.7	41	19.6	19	9.1
(8) 通院	209	111	53.1	51	24.4	29	13.9	18	8.6
(9) 電車等での外出	209	115	55.0	47	22.5	28	13.4	19	9.1
(10) コミュニケーション	209	94	45.0	71	34.0	16	7.7	28	13.4

表 【自立支援医療】日常生活動作の状況

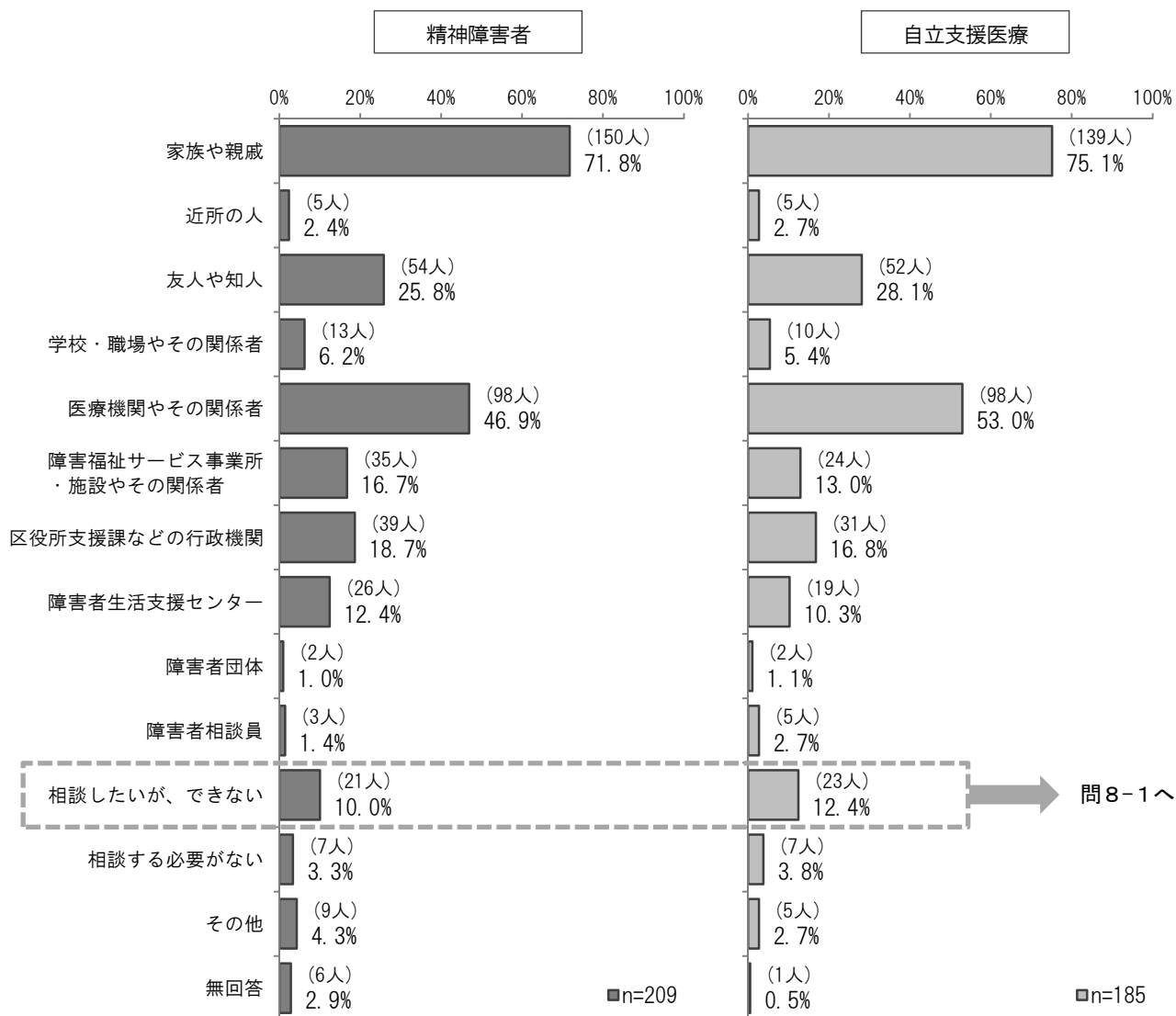
	回答者数（人）	ひとりできる		一部支援が必要		すべてに支援が必要		無回答	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
(1) 身のまわりのこと	185	155	83.8	23	12.4	3	1.6	4	2.2
(2) 家の中での移動	185	176	95.1	3	1.6	2	1.1	4	2.2
(3) 家事	185	109	58.9	55	29.7	15	8.1	6	3.2
(4) 買い物	185	142	76.8	21	11.4	16	8.6	6	3.2
(5) お金の管理	185	129	69.7	24	13.0	26	14.1	6	3.2
(6) 薬の管理	185	150	81.1	19	10.3	10	5.4	6	3.2
(7) 銀行等での手続き	185	129	69.7	27	14.6	22	11.9	7	3.8
(8) 通院	185	137	74.1	27	14.6	15	8.1	6	3.2
(9) 電車等での外出	185	139	75.1	24	13.0	16	8.6	6	3.2
(10) コミュニケーション	185	129	69.7	33	17.8	11	5.9	12	6.5

6 相談について

問8 相談する相手はどなたですか。（すべてに○）

相談相手は、『精神障害者』『自立支援医療受給者』ともに「家族や親戚」が最も高く、それぞれ71.8%、75.1%となっています。一方、「相談したいが、できない」は『精神障害者』が10.0%、『自立支援医療受給者』が12.4%となっています。

図 相談相手（複数回答）



「その他」の主な内容

〔精神障害者〕

- ・警察
- ・デイケアスタッフ
- ・インターネット

〔自立支援医療〕

- ・カウンセラー
- ・他市役所の職員
- ・いのちの電話

**問8-1 【問8で「相談したいが、できない」と答えた方にお聞きします。】
相談できない理由は何ですか。（すべてに○）**

相談したいが、できないと回答した『精神障害者』21人、『自立支援医療受給者』23人の理由は、「相談しても満足いく回答がもらえない」が、それぞれ52.4%、52.2%で最も高くなっています。また、『自立支援医療受給者』は「どこ（誰）に相談していいかわからない」が52.2%、「身近なところに相談できるところがない」が43.5%で高くなっています。

表 相談したいが、できない理由（複数回答）

	精神障害者		自立支援医療	
	人数	%	人数	%
どこ（誰）に相談していいかわからない	9	42.9	12	52.2
身近なところに相談できるところがない	4	19.0	10	43.5
相談しても満足いく回答がもらえない	11	52.4	12	52.2
プライバシー保護に不安がある	8	38.1	5	21.7
夜間や休日などに相談するところがない	3	14.3	3	13.0
その他	3	14.3	4	17.4
無回答	0	0.0	0	0.0
全 体	21	—	23	—

「その他」の主な内容
〔精神障害者〕

- ・相談の必要性に迫られるとパニックになる。
- ・言葉がうまく出ないため、話せない。

〔自立支援医療〕

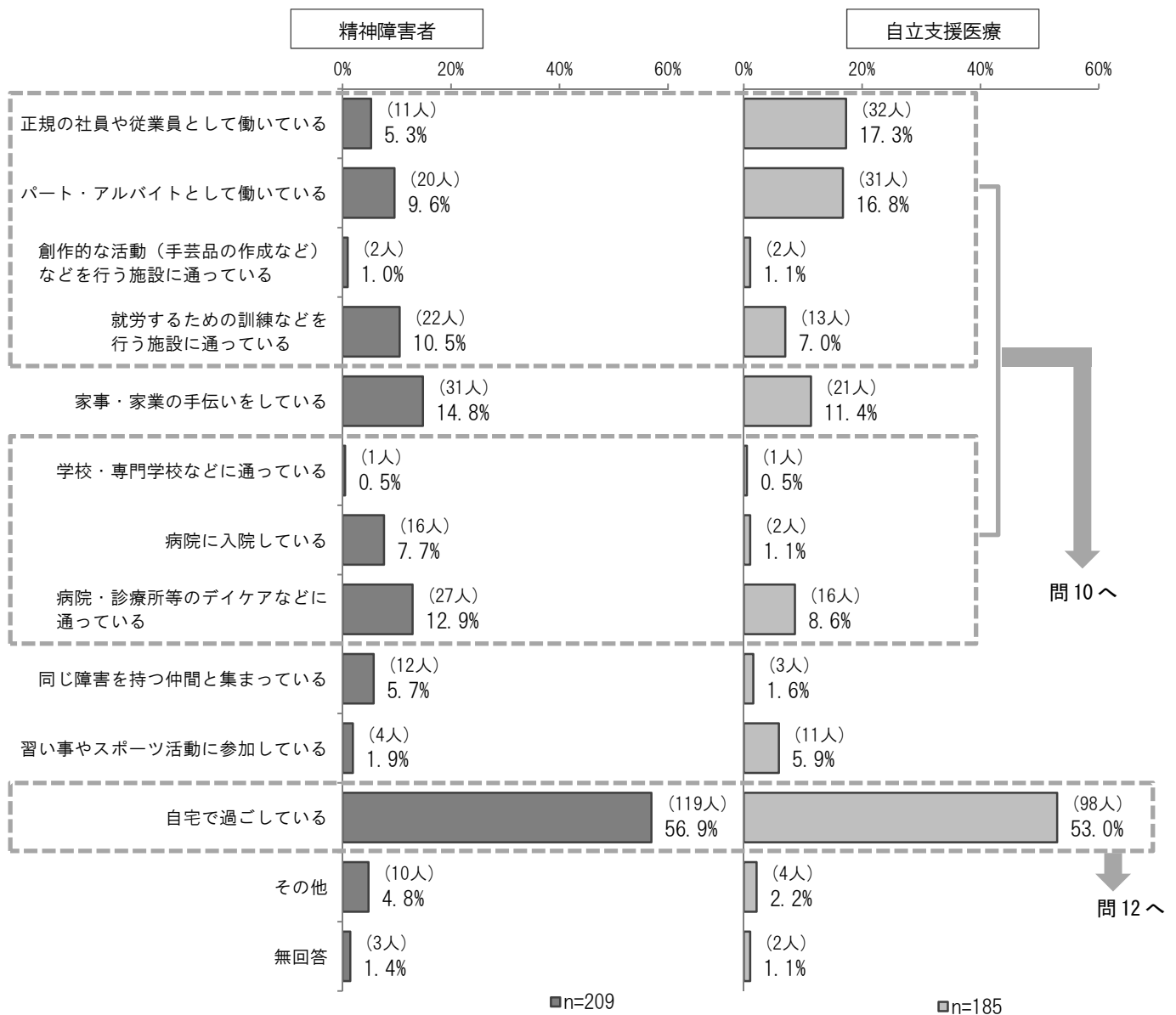
- ・周囲も精神病や重病人なため。
- ・本音で話せる人がいない。
- ・相談することに不安を感じる。

7 昼間の活動の場について

問9 あなたは、平日の昼間、どのように過ごしていますか。（1つに○）

平日の昼間の過ごし方は、『精神障害者』は「自宅で過ごしている」が 56.9%で最も高く、次いで「病院・診療所等のデイケアなどに通っている」が 12.9%となっています。『自立支援医療受給者』は『自宅で過ごしている』が 53.0%で最も高く、次いで「正規の社員や従業員として働いている」が 17.3%、「パート・アルバイトとして働いている」が 16.8%となっています。

図 平日の昼間の過ごし方

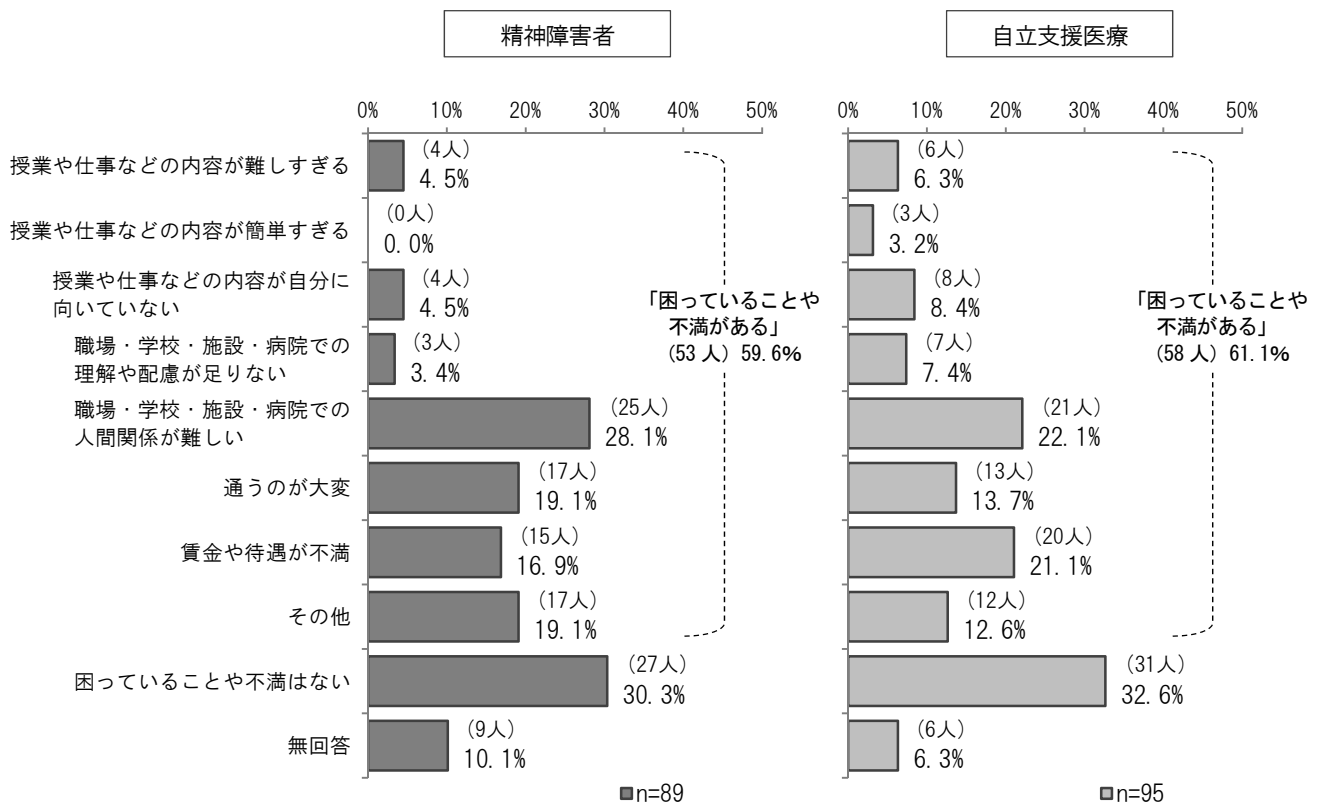


問10 【問9で「正規の社員や従業員として働いている」「パート・アルバイトとして働いている」「創作的な活動などを行う施設に通っている」「就労するための訓練などを行う施設に通っている」「学校・専門学校などに通っている」「病院に入院している」「病院・診療所等のデイケアなどに通っている」と答えた方にお聞きします。】

あなたは、活動の場について困っていることや不満がありますか。（すべてに○）

上記に回答した『精神障害者』89人、『自立支援医療受給者』95人の活動の場で困っていることや不満に思うことは、「困っていることや不満はない」が、それぞれ30.3%、32.6%に対し、「困っていることや不満がある」は『精神障害者』が59.6%、『自立支援医療受給者』が61.1%となっています。その内容は、「職場・学校・施設・病院での人間関係が難しい」「賃金や待遇が不満」「通うのが大変」が上位となっています。

図 活動の場で困っていることや不満に思うこと（複数回答）



※「困っていることや不満がある」=100%－「困っていることや不満はない」－「無回答」

**問 11 【障害や難病のあるお子さんをお持ちの保護者の方にお聞きします。】
幼稚園、保育園、学校に望むことは何ですか。（すべてに○）**

障害や難病のある子どもを持つ保護者が、幼稚園、保育園、学校に望むことは「障害特性の理解と支援」「能力や障害の状態に応じた指導をしてほしい」「相談体制を充実してほしい」がともに上位となっています。

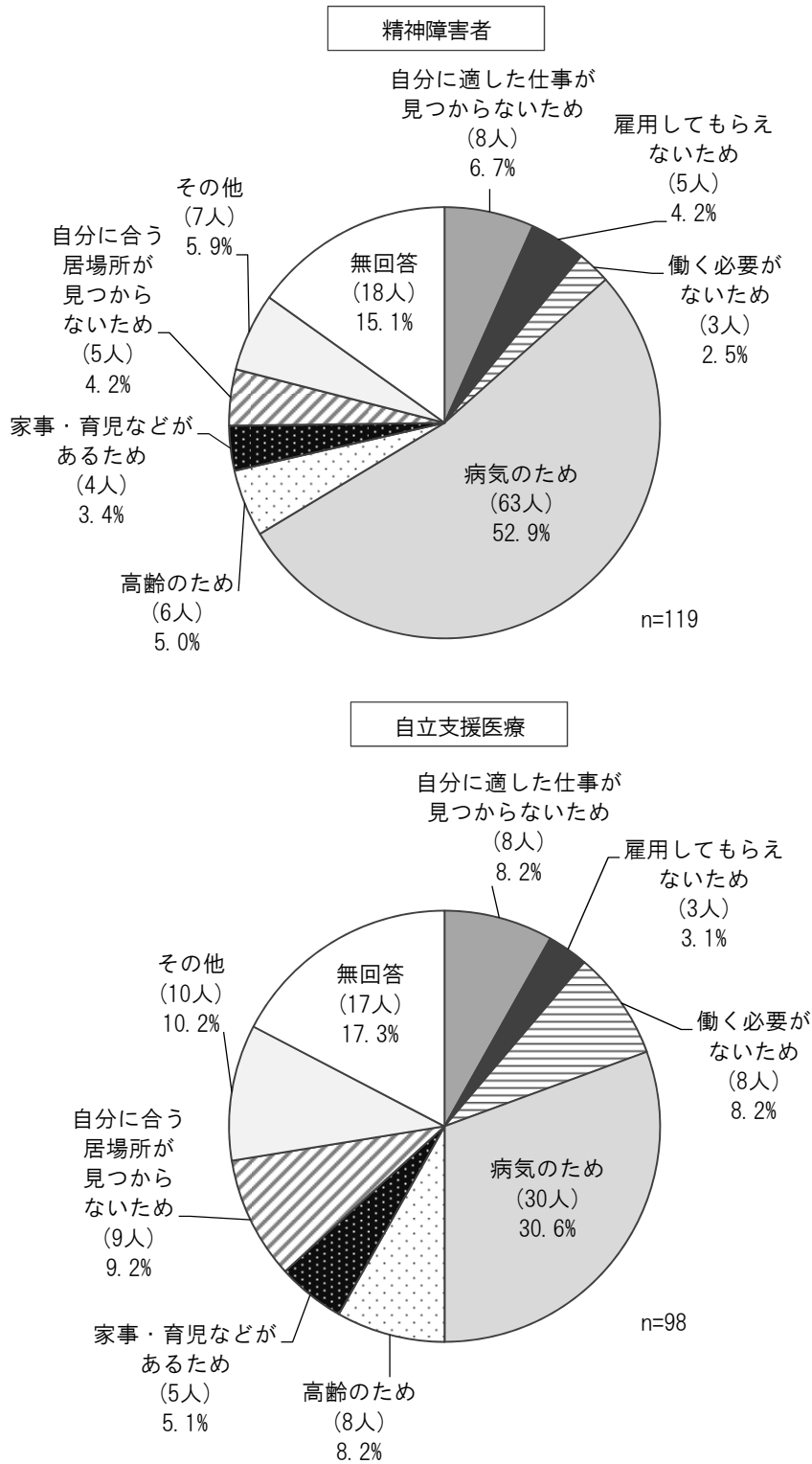
表 幼稚園、保育園、学校に望むこと（複数回答）

	精神障害者		自立支援医療	
	人数	%	人数	%
相談体制を充実してほしい	6	2.9	4	2.2
能力や障害の状態に応じた指導をしてほしい	5	2.4	7	3.8
施設、設備、教材を充実してほしい	3	1.4	2	1.1
通常の学級への受け入れを進めてほしい	0	0.0	1	0.5
まわりの子どもたちの理解を深めるような 交流の機会を増やしてほしい	3	1.4	2	1.1
医療的ケア（導尿、経管栄養、痰の吸引など） が受けられるようにしてほしい	1	0.5	1	0.5
療育指導が受けられるようにしてほしい	2	1.0	2	1.1
通級を増やしてほしい	0	0.0	2	1.1
通常学校での支援促進	1	0.5	1	0.5
通常級での教員・職員の加配	0	0.0	1	0.5
障害特性の理解と支援	7	3.3	6	3.2
障害を理由としたいじめや不登校等の対応	2	1.0	2	1.1
特別支援教育支援員やコーディネーターの 増員	2	1.0	1	0.5
その他	2	1.0	0	0.0
特に望むことはない	4	1.9	4	2.2
無回答	190	90.9	172	93.0
全 体	209	—	185	—

**問12 【問9で「主に自宅にいる」と答えた方にお聞きします。】
あなたが、自宅にいる理由は何ですか。（1つに○）**

主に自宅にいると回答した『精神障害者』119人のその理由は、「病気のため」が52.9%となっています。『自立支援医療受給者』98人のその理由は、「病気のため」が30.6%、「自分に合う場所が見つからないため」が9.2%となっています。

図 自宅にいる理由



問 13 【問9で「正規の社員や従業員として働いている」「パート・アルバイトとして働いている」と答えた方にお聞きします。】
あなたは、どのように働いていますか。（1つに○）

働いていると回答した『精神障害者』31人、『自立支援医療受給者』63人の就業形態は、「パート・アルバイト」が最も高く、それぞれ54.8%、42.9%、次いで「一般企業の正社員」が、それぞれ19.4%、28.6%となっています。

表 就業形態

	精神障害者		自立支援医療	
	人数	%	人数	%
一般企業の正社員	6	19.4	18	28.6
一般企業の契約社員	1	3.2	7	11.1
特例子会社の正社員	1	3.2	1	1.6
特例子会社の契約社員	0	0.0	0	0.0
自営業	0	0.0	0	0.0
パート・アルバイト	17	54.8	27	42.9
家業（自営業）の手伝い	0	0.0	1	1.6
就労移行支援・就労継続支援など	2	6.5	2	3.2
その他	0	0.0	5	7.9
無回答	4	12.9	2	3.2
全 体	31	100.0	63	100.0

問 13-1 【働いている方】あなたは、1週間に何日くらい働いていますか。
（1つに○）

働いていると回答した『精神障害者』31人、『自立支援医療受給者』63人の1週間の就労日数は、「5日」が最も高く、それぞれ54.8%、49.2%となっています。

表 1週間の就労日数

	精神障害者		自立支援医療	
	人数	%	人数	%
1日	0	0.0	1	1.6
2日	2	6.5	0	0.0
3日	0	0.0	8	12.7
4日	6	19.4	10	15.9
5日	17	54.8	31	49.2
6日以上	3	9.7	5	7.9
決まっていない	0	0.0	6	9.5
無回答	3	9.7	2	3.2
全 体	31	100.0	63	100.0

問 13-2 【働いている方】あなたは、1日に何時間くらい働いていますか。
（1つに○）

働いていると回答した『精神障害者』31人、『自立支援医療受給者』63人の1日の就労時間は、『精神障害者』は「6時間以上8時間未満」が35.5%で最も高く、『自立支援医療受給者』は「8時間以上」が34.9%で最も高くなっています。

表 1日の就労時間

	精神障害者		自立支援医療	
	人数	%	人数	%
1時間未満	0	0.0	0	0.0
1時間以上4時間未満	2	6.5	5	7.9
4時間以上6時間未満	9	29.0	14	22.2
6時間以上8時間未満	11	35.5	19	30.2
8時間以上	5	16.1	22	34.9
決まっていない	0	0.0	2	3.2
無回答	4	12.9	1	1.6
全 体	31	100.0	63	100.0

問 13-3 【働いている方】あなたの、給与・賃金はどのくらいですか。

働いていると回答した『精神障害者』31人、『自立支援医療受給者』63人の1か月の平均給与・賃金は、『精神障害者』は「10万円～15万円未満」が32.3%で最も高く、『自立支援医療受給者』は「5万円～10万円未満」が25.4%で最も高くなっています。

表 1か月の平均給与・賃金

	精神障害者		自立支援医療	
	人数	%	人数	%
1万円未満	0	0.0	6	9.5
1万円～3万円未満	1	3.2	1	1.6
3万円～5万円未満	2	6.5	4	6.3
5万円～10万円未満	8	25.8	16	25.4
10万円～15万円未満	10	32.3	7	11.1
15万円～20万円未満	0	0.0	4	6.3
20万円～30万円未満	3	9.7	12	19.0
30万円以上	3	9.7	5	7.9
無回答	4	12.9	8	12.7
全 体	31	100.0	63	100.0

第5章 障害者福祉に関する調査結果（C-1精神障害者・C-2自立支援医療利用者）

働いていると回答した『精神障害者』31人、『自立支援医療受給者』63人の1年間の賞与は、ともに「0円」が最も高く、それぞれ41.9%、39.7%となっています。一方、『自立支援医療受給者』は「30万以上」が23.8%と高くなっています。

表 1年間の賞与

	精神障害者		自立支援医療	
	人数	%	人数	%
0円	13	41.9	25	39.7
1円～1万円未満	0	0.0	5	7.9
1万円～3万円未満	2	6.5	2	3.2
3万円～5万円未満	1	3.2	2	3.2
5万円～10万円未満	1	3.2	1	1.6
10万円～15万円未満	0	0.0	0	0.0
15万円～20万円未満	0	0.0	0	0.0
20万円～30万円未満	1	3.2	1	1.6
30万円以上	4	12.9	15	23.8
無回答	9	29.0	12	19.0
全体	31	100.0	63	100.0

問13-4 【働いている方】あなたは、現在の仕事はどうやって見つけましたか。
(1つに○)

働いていると回答した『精神障害者』31人、『自立支援医療受給者』63人の就職活動手段は、『精神障害者』は「公共職業安定所（ハローワーク）」が32.3%で最も高く、『自立支援医療受給者』は「自分で探した」が34.9%で最も高くなっています。

表 仕事をどうやって見つけたか

	精神障害者		自立支援医療	
	人数	%	人数	%
公共職業安定所（ハローワーク）	10	32.3	9	14.3
民間の職業紹介会社	0	0.0	8	12.7
障害者総合支援センター	2	6.5	0	0.0
自営業	0	0.0	0	0.0
家族・親族の紹介	1	3.2	3	4.8
学校の紹介	1	3.2	3	4.8
知り合いの紹介	2	6.5	5	7.9
自分で探した	9	29.0	22	34.9
高等技術専門学校（職業訓練校）の紹介	0	0.0	0	0.0
就労移行支援事業所の紹介	2	6.5	2	3.2
その他	1	3.2	7	11.1
無回答	3	9.7	4	6.3
全体	31	100.0	63	100.0

問 13-5 【働いている方】仕事を続けるためには何が必要だと思いますか。
（3つまで○）

働いていると回答した『精神障害者』31人、『自立支援医療受給者』63人が仕事を続けるために必要だと思うことは、ともに「体調に合った勤務体制（合理的配慮）」「生活に必要な額の賃金」が上位2項目となっています。

表 仕事を続けるために必要なこと（複数回答）

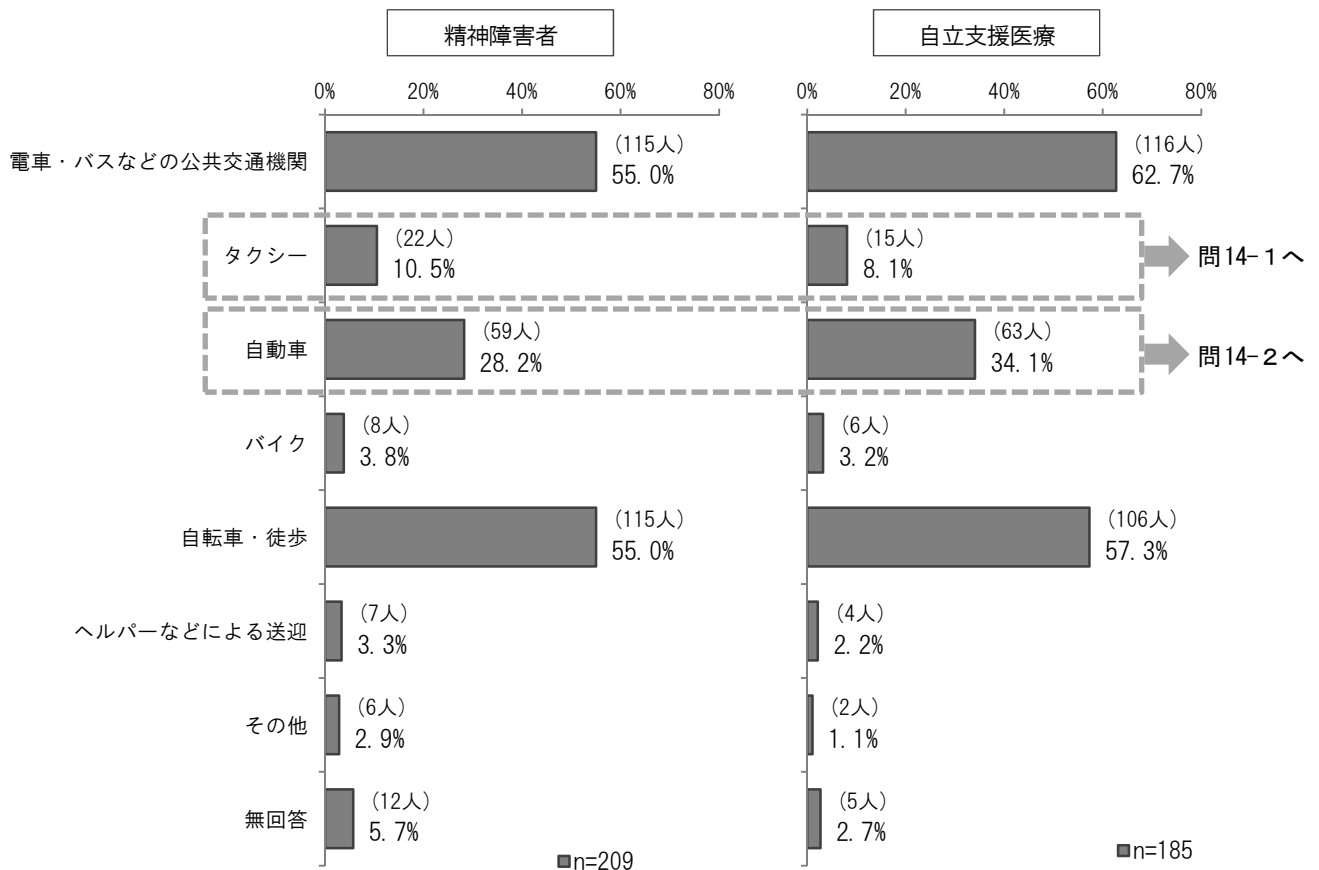
	精神障害者		自立支援医療	
	人数	%	人数	%
生活に必要な額の賃金	14	45.2	35	55.6
体調に合った勤務体制（合理的配慮）	14	45.2	37	58.7
良好な人間関係をつくるための援助 （合理的配慮）	7	22.6	14	22.2
ジョブコーチによる支援	2	6.5	1	1.6
通勤のための援助	1	3.2	5	7.9
能力に合った仕事（合理的配慮）	10	32.3	16	25.4
異動や業務変更に対応していくための援助 （合理的配慮）	3	9.7	6	9.5
職業訓練（職業リハビリテーション）	0	0.0	2	3.2
職場の産業医のアドバイス	0	0.0	1	1.6
日常生活の援助	1	3.2	2	3.2
パソコン、インターネット等の技術習得	3	9.7	0	0.0
職場の障害理解（合理的配慮）	11	35.5	11	17.5
病院などでの医療ケア	0	0.0	3	4.8
通院による主治医のアドバイス	5	16.1	11	17.5
その他	2	6.5	2	3.2
特になし	0	0.0	4	6.3
わからない	0	0.0	1	1.6
無回答	4	12.9	2	3.2
全 体	31	100.0	63	100.0

8 外出について

問 14 あなたが、外出する際に、よく利用する移動手段は何ですか。（すべてに○）

外出の移動手段は、『精神障害者』は「電車・バスなどの公共交通機関」「自転車・徒歩」がともに55.0%で最も高く、『自立支援医療受給者』は「電車・バスなどの公共交通機関」が62.7%で最も高く、次いで「自転車・徒歩」が57.3%となっています。

図 外出の移動手段（複数回答）



問 14-1 【問 14 で「タクシー」と答えた方にお聞きします。】
タクシーの1か月の利用回数は何回くらいですか。

タクシーと回答した『精神障害者』22人、『自立支援医療受給者』15人の1か月の利用回数は、ともに「2回以下」が、それぞれ36.4%、53.3%で高くなっています。

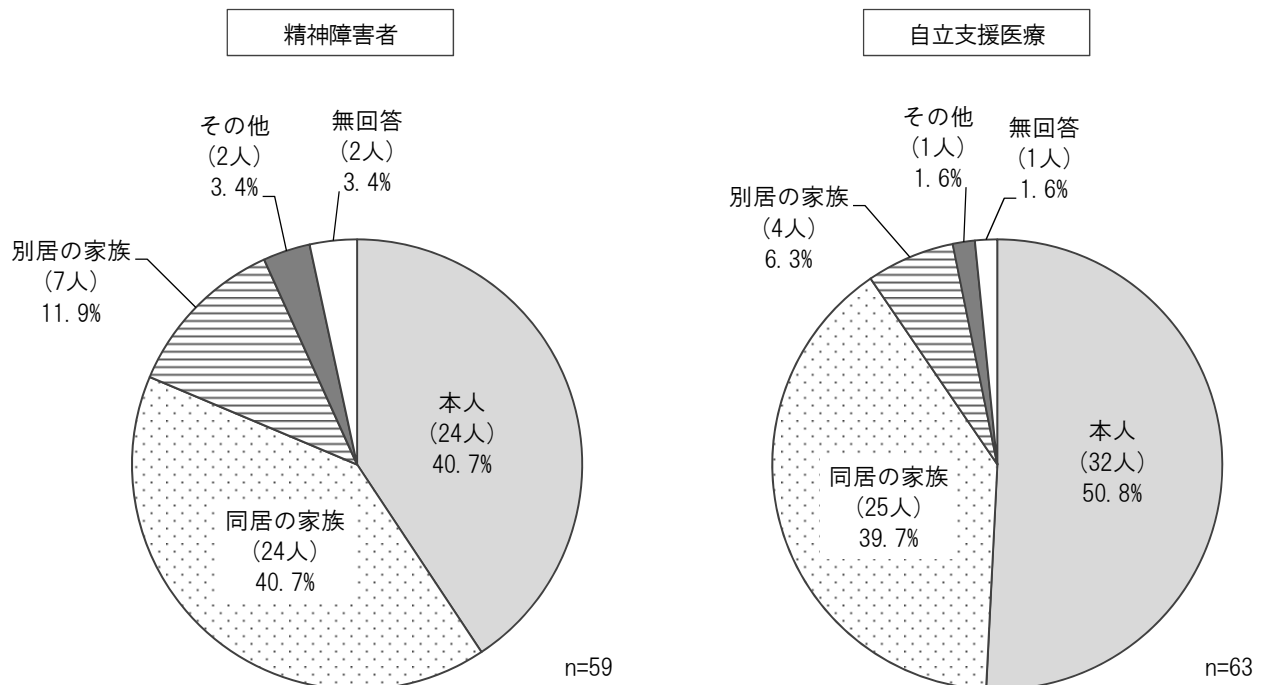
表 1か月の利用回数

	精神障害者		自立支援医療	
	人数	%	人数	%
2回以下	8	36.4	8	53.3
3～5回	7	31.8	4	26.7
6～10回	2	9.1	1	6.7
11～20回	0	0.0	0	0.0
21回以上	1	4.5	1	6.7
無回答	4	18.2	1	6.7
全 体	22	100.0	15	100.0

問 14-2 【問 14 で「自動車」と答えた方にお聞きします。】
自動車を運転するのは、主に誰ですか。（1つに○）

自動車と回答した『精神障害者』59人、『自立支援医療受給者』63人の主に運転する人は、『精神障害者』は「本人」「同居の家族」が最も高く、ともに40.7%となっています。『自立支援医療受給者』は「本人」が50.8%で最も高くなっています。

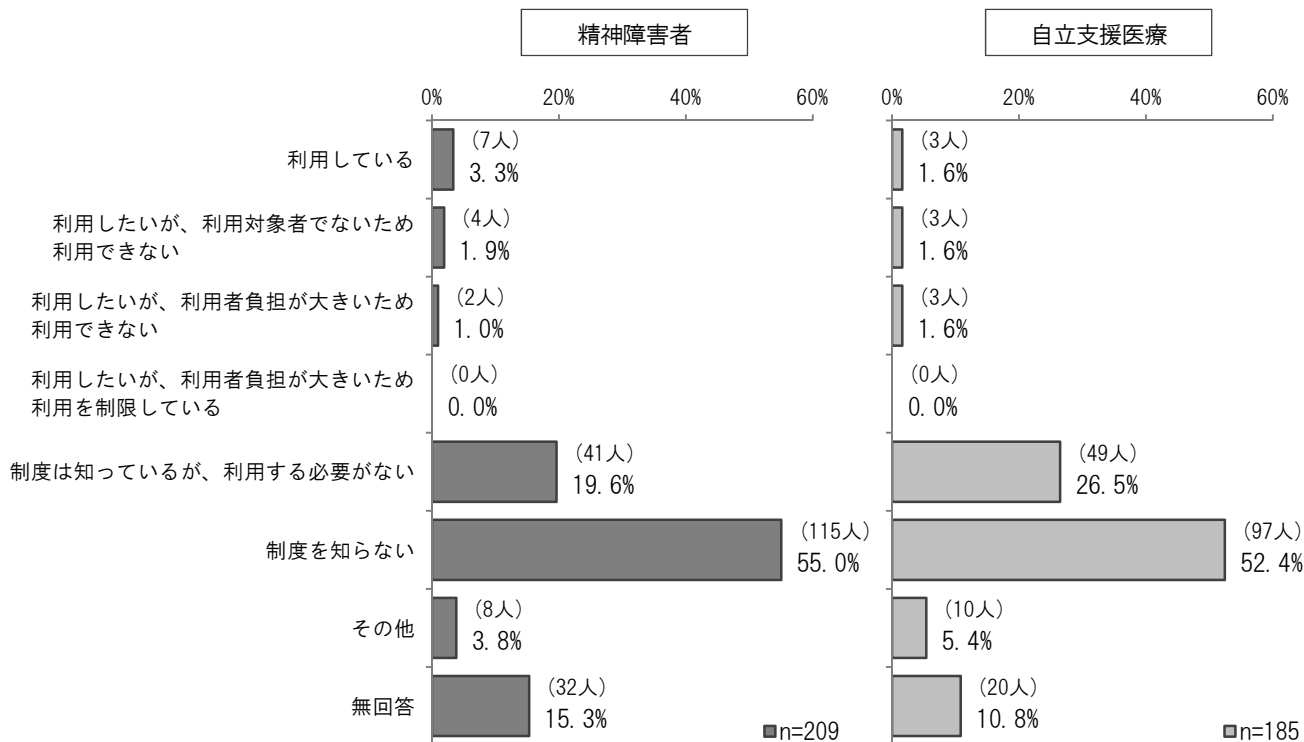
図 自動車を主に運転する人



問 15 あなたは、外出する際に、移動支援事業を利用していますか。（1つに○）
 ※移動支援とは、外出の際にヘルパーを利用することです。

移動支援事業の利用状況は、ともに「制度を知らない」が最も高く、『精神障害者』が55.0%、
 『自立支援医療受給者』が52.4%となっています。

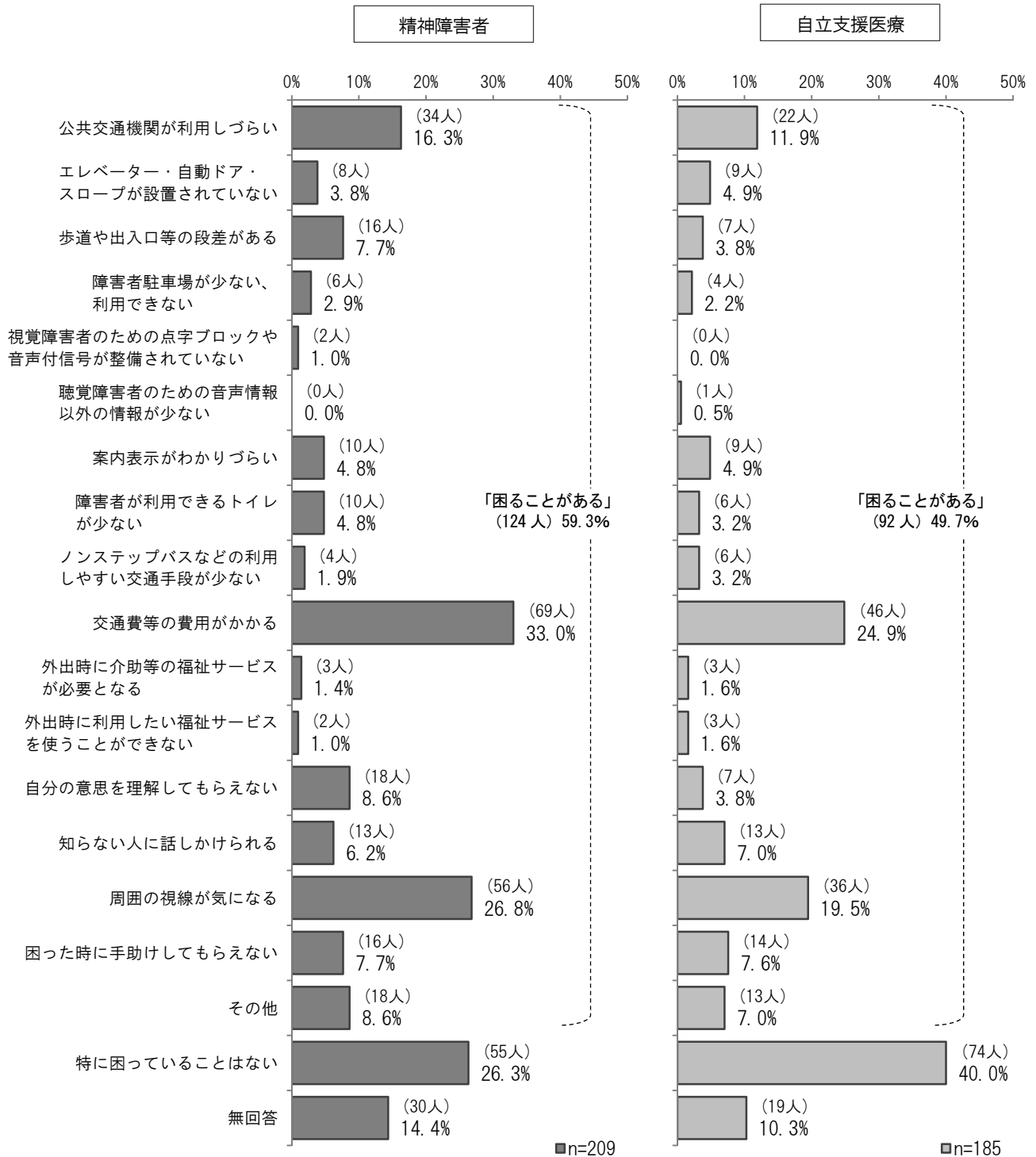
図 移動支援事業の利用状況



問16 あなたは、外出する際に、困ることはありますか。（すべてに○）

外出する際に困ることがあると回答した人は『精神障害者』が59.3%、『自立支援医療受給者』が49.7%となっています。その内容は「交通費等の費用がかかる」が最も高く、それぞれ33.0%、24.9%、次いで「周囲の視線が気になる」が、それぞれ26.8%、19.5%となっています。

図 外出する際に困ること（複数回答）



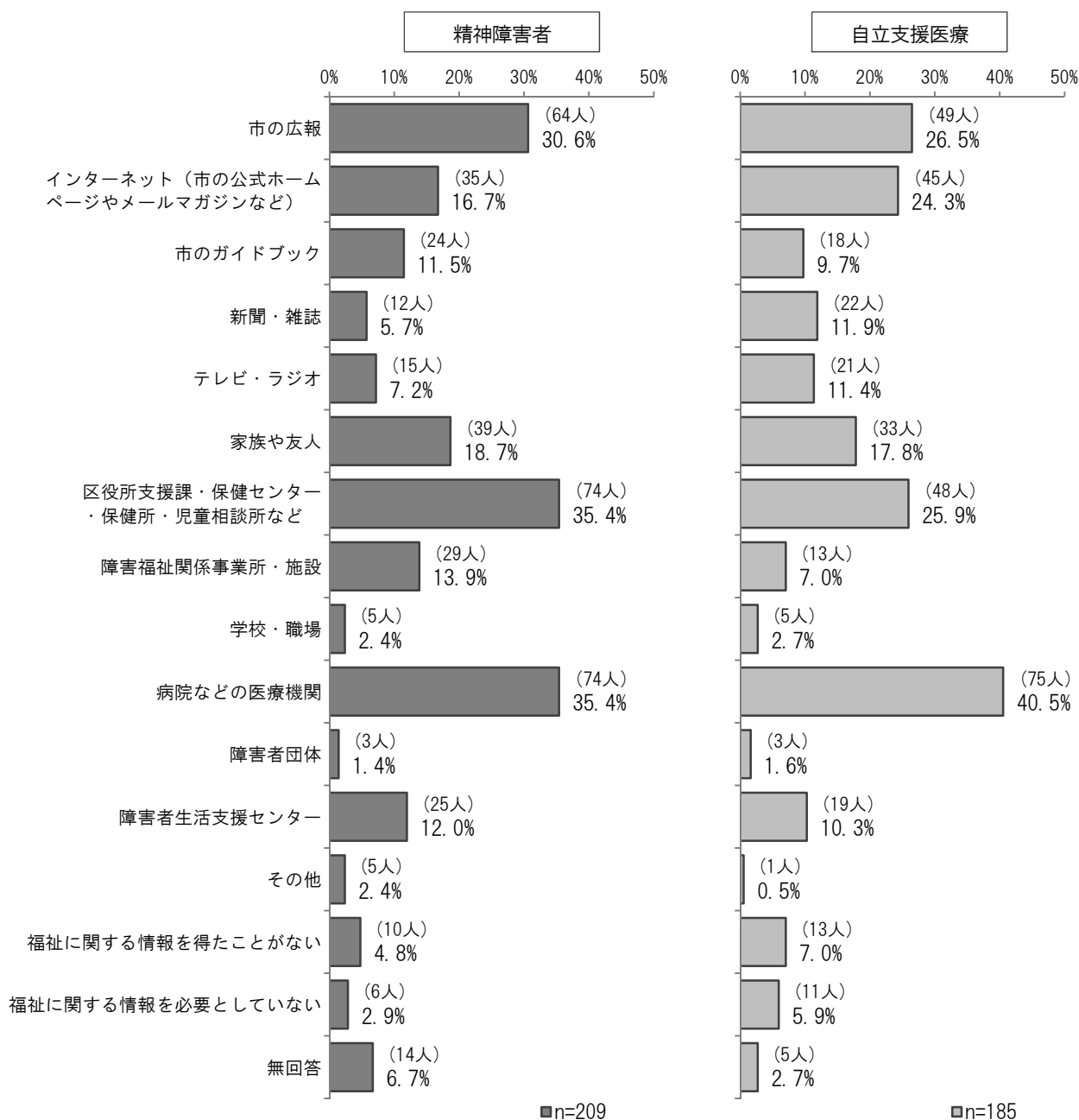
※「困ることがある」=100%－「特に困っていることはない」－「無回答」

9 情報について

問17 障害福祉に関する情報は、どこから得ますか。（すべてに○）

障害福祉に関する情報を得るところは、『精神障害者』は「病院などの医療機関」「区役所支援課・保健センター・保健所・児童相談所など」が、ともに35.4%で最も高くなっています。『自立支援医療受給者』は「病院などの医療機関」が40.5%で最も高く、次いで「市の広報」が26.5%となっています。

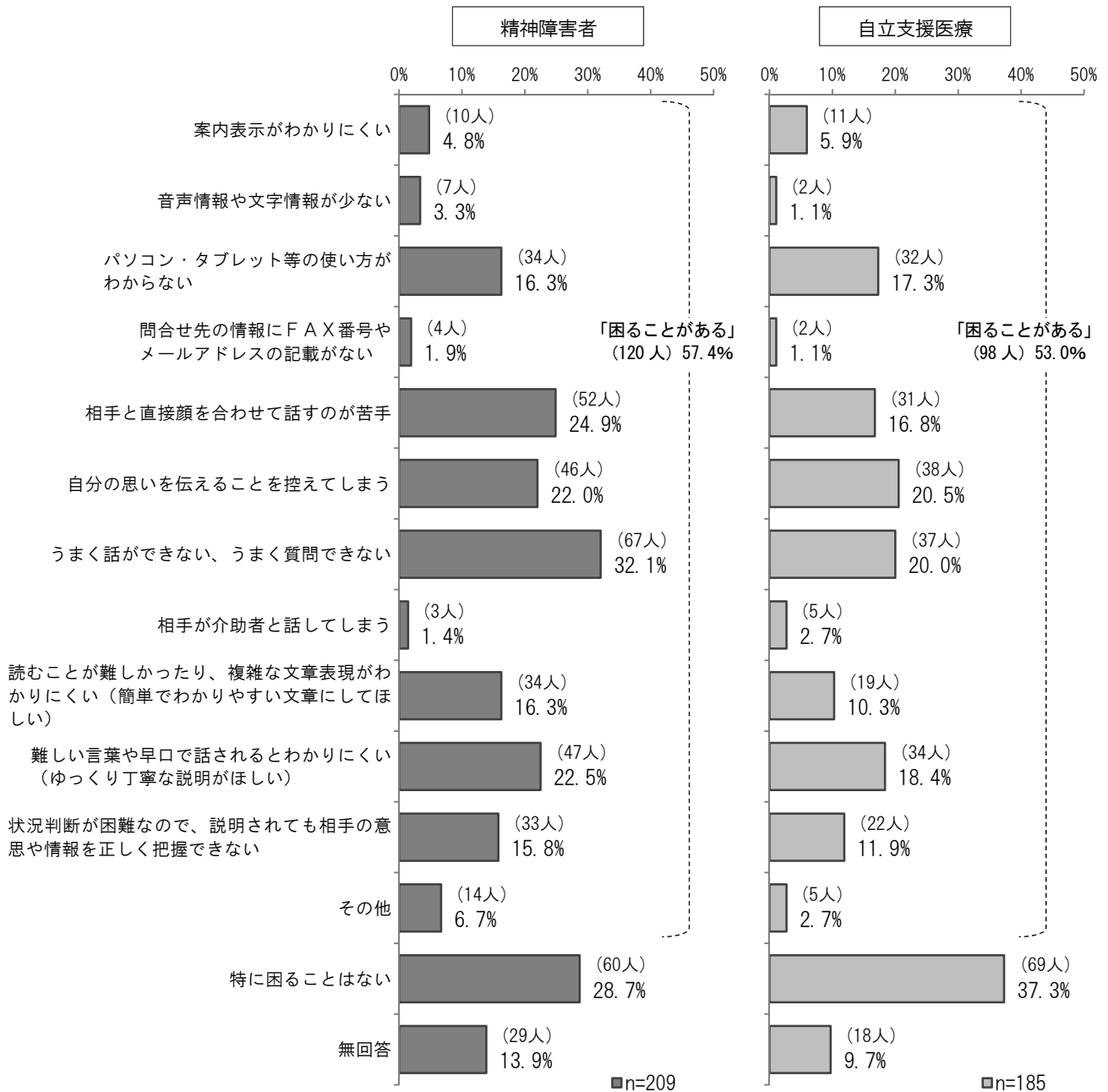
図 障害福祉に関する情報を得るところ（複数回答）



問 18 あなたは、情報を入手したり、コミュニケーションをとるうえで困ることはありますか。（すべてに○）

情報入手やコミュニケーションをとるうえで困ることがあると回答した人は『精神障害者』が57.4%、『自立支援医療受給者』が53.0%となっています。その内容は『精神障害者』は「うまく話ができない、うまく質問できない」が32.1%で最も高く、次いで「相手と直接顔を合わせて話すのが苦手」が24.9%となっています。『自立支援医療受給者』は「自分の思いを伝えることを控えてしまう」が20.5%で最も高く、次いで「うまく話ができない、うまく質問できない」が20.0%となっています。

図 情報入手やコミュニケーションをとるうえで困ること（複数回答）



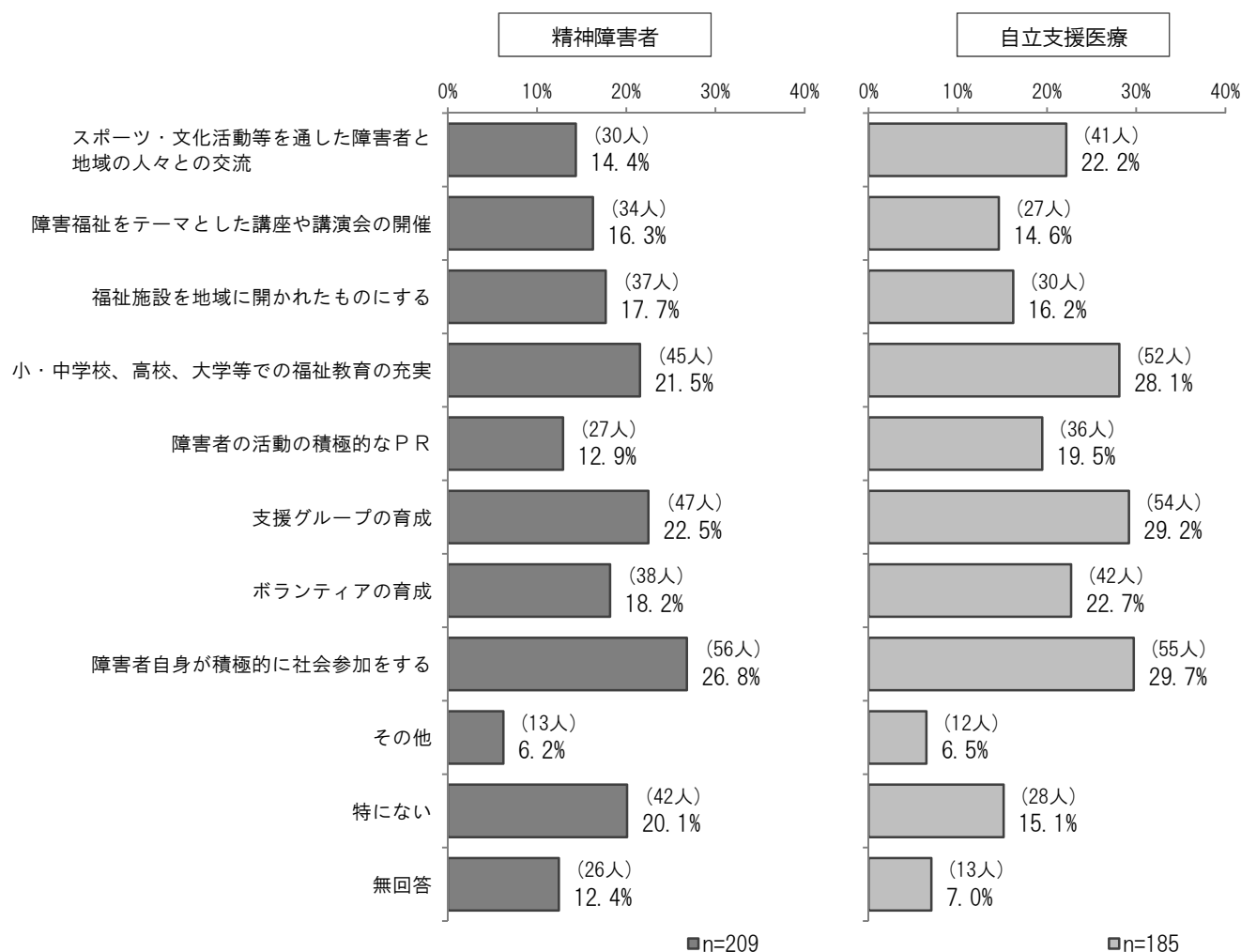
※「困ることがある」=100%－「特に困ることはない」－「無回答」

10 障害者への理解について

問19 障害者への理解を深めるために力を入れるべきことは何だと思いませんか。
（すべてに○）

障害者への理解を深めるために力を入れるべきことは、ともに「障害者自身が積極的に社会参加をする」が最も高く、それぞれ26.8%、29.7%、次いで「支援グループの育成」が、それぞれ22.5%、29.2%で高くなっています。

図 障害者への理解を深めるために力を入れるべきこと（複数回答）



「その他」の主な内容 〔精神障害者〕

- ・障害があっても健常者対象の講座に参加するべき。
- ・できるだけ費用をかけずに参加できるサークルを増やす。
- ・障害を開示して就労する人への理解と配慮。
- ・精神障害者がスポーツ参加できる環境がほしい。

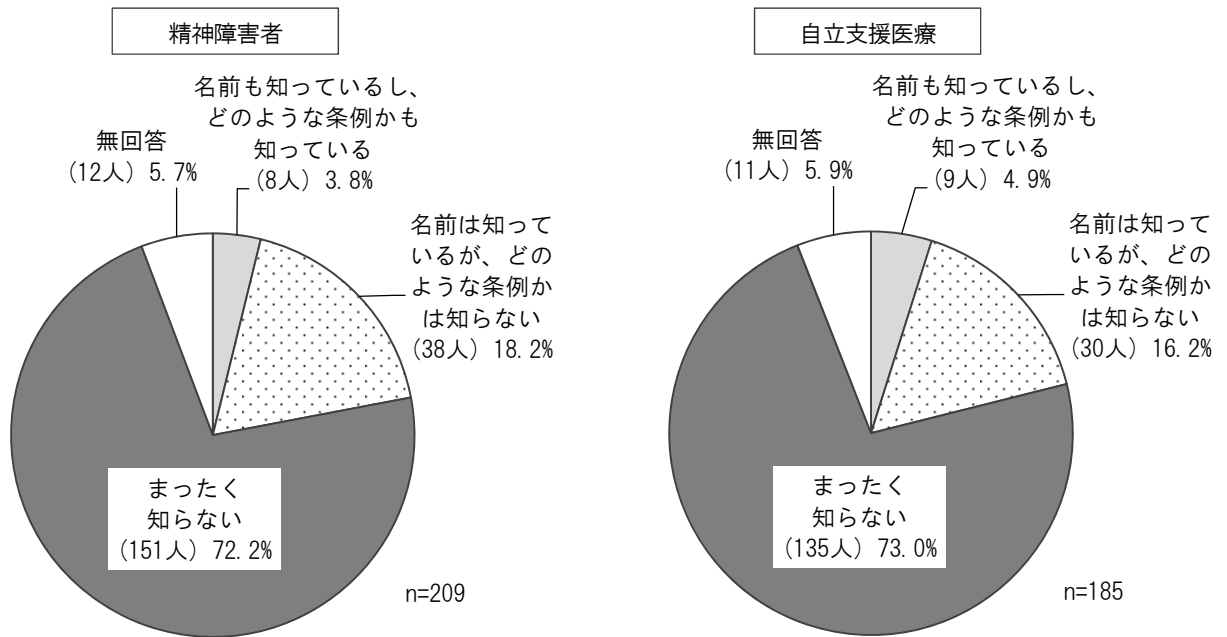
〔自立支援医療〕

- ・義務教育の中で障害の体験学習。
- ・目に見えない障害なので、職場での配慮体制を整える。
- ・うつ病をオープンにして就労できる支援体制の充実。

問 20 さいたま市では、障害者への虐待や差別の禁止を掲げた「誰もが共に暮らすための障害者の権利の擁護等に関する条例（ノーマライゼーション条例）」を試行しています。あなたは、このことについて知っていますか。（1つに○）

ノーマライゼーション条例の認知度は、『精神障害者』は「名前も知っているし、どのような条例かも知っている」が3.8%、「名前は知っているが、どのような条例かは知らない」が18.2%となっています。『自立支援医療受給者』は「名前も知っているし、どのような条例かも知っている」が4.9%、「名前は知っているが、どのような条例かは知らない」が16.2%となっています。また、「まったく知らない」は『精神障害者』『自立支援医療受給者』ともに7割を超え、高くなっています。

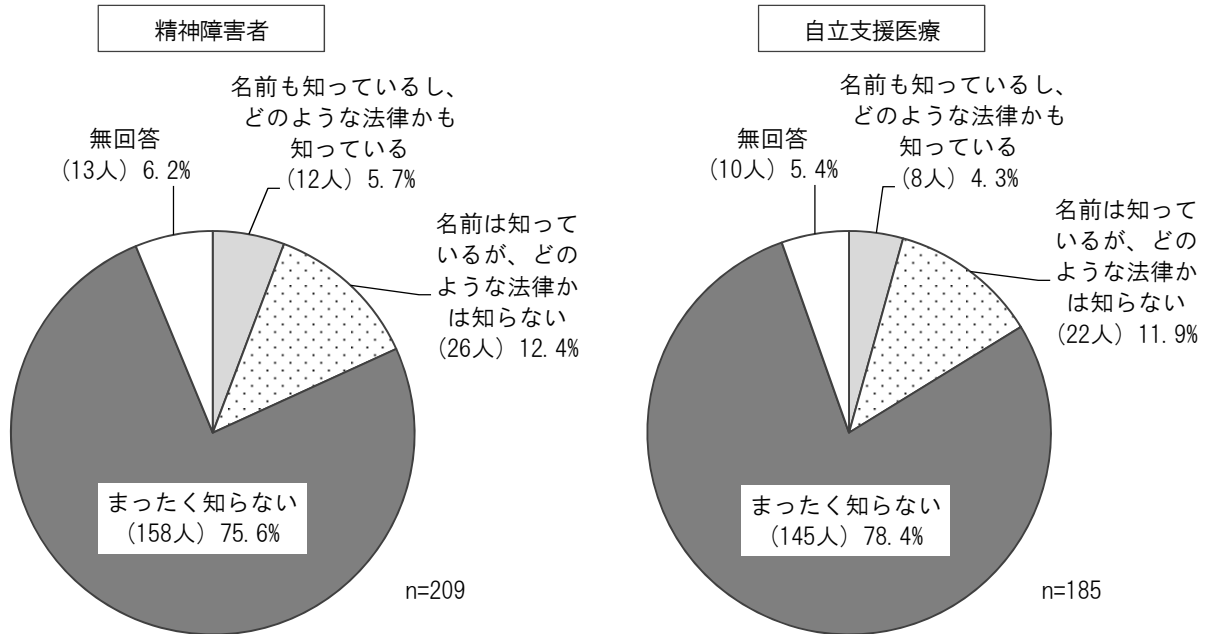
図 ノーマライゼーション条例の認知度



問 21 障害者に対する不当な差別的取扱い及び合理的配慮の不提供を差別と規定する障害者差別解消法が平成 28 年 4 月に施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。（1つに○）

障害者差別解消法の認知度は、『精神障害者』『自立支援医療受給者』ともに「まったく知らない」が7割強から8割弱で高くなっています。

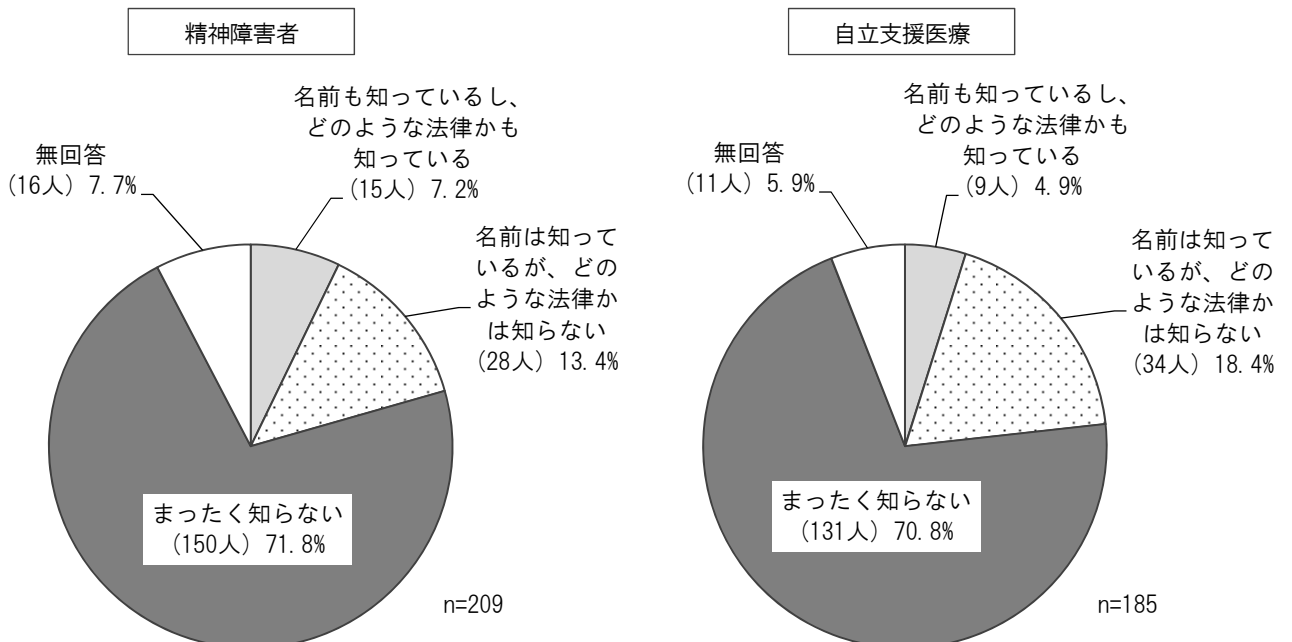
図 障害者差別解消法の認知度



問 22 雇用の分野における障害者に対する差別の禁止及び障害者が職場で働くに当たっての合理的配慮の提供義務を定めるとともに、精神障害者を法定雇用率の算定基礎に加える等の措置を講じた改正障害者雇用促進法が平成 28 年 4 月に施行されました。あなたは、このことについて知っていますか。（1つに○）

改正障害者雇用促進法の認知度は、『精神障害者』『自立支援医療受給者』ともに「まったく知らない」が約7割で高くなっています。

図 改正障害者雇用促進法の認知度

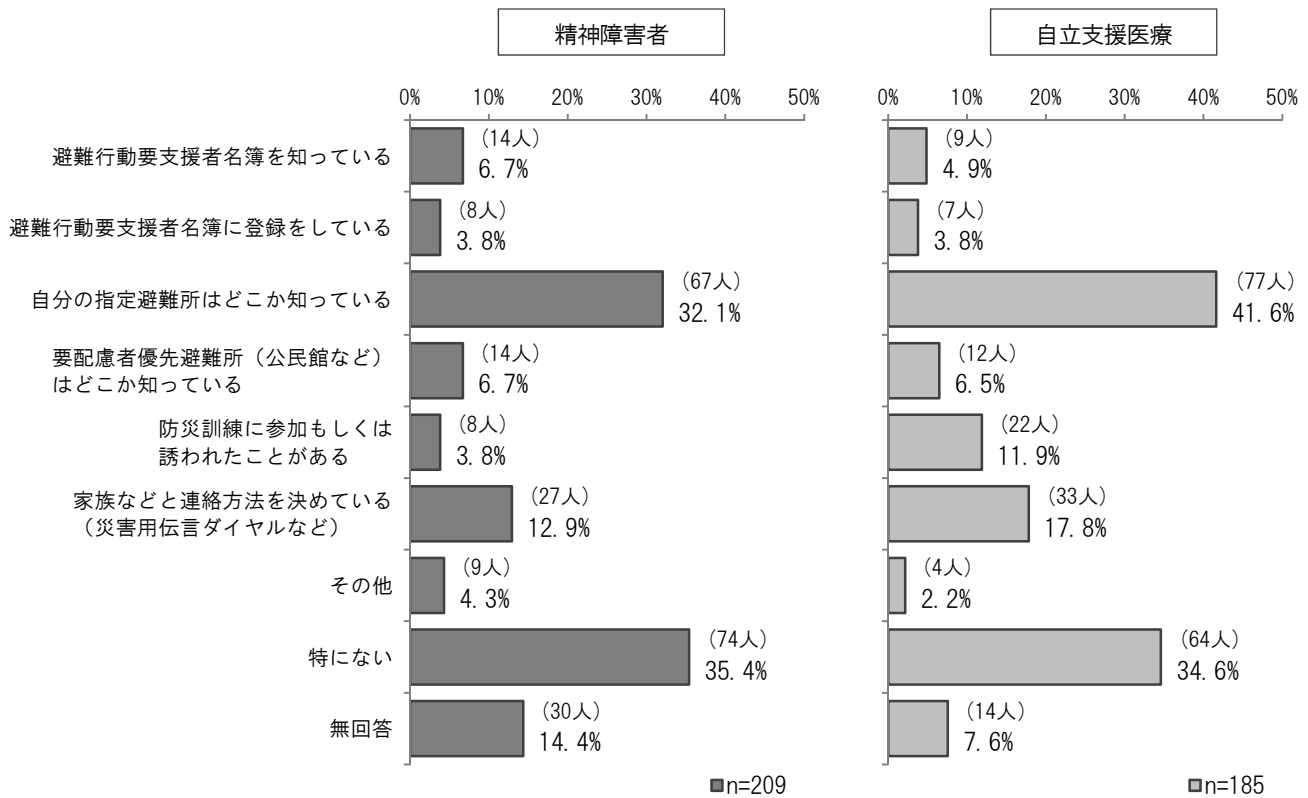


11 災害時の対応について

問 23 災害の際の取組について、あなたの知っていることや経験したことはありますか。（すべてに○）

災害の際の取組について知っていることや経験したことは、ともに「自分の指定避難場所はどこか知っている」が最も高く、それぞれ32.1%、41.6%となっています。一方、「特にない」も、それぞれ35.4%、34.6%で高くなっています。

図 災害の際の取組について知っていることや経験したこと（複数回答）



「その他」の主な内容 〔精神障害者〕

- ・避難所までが遠くて、避難するのが困難。
- ・地震で被災した場合、市内で宿泊できる所がない。

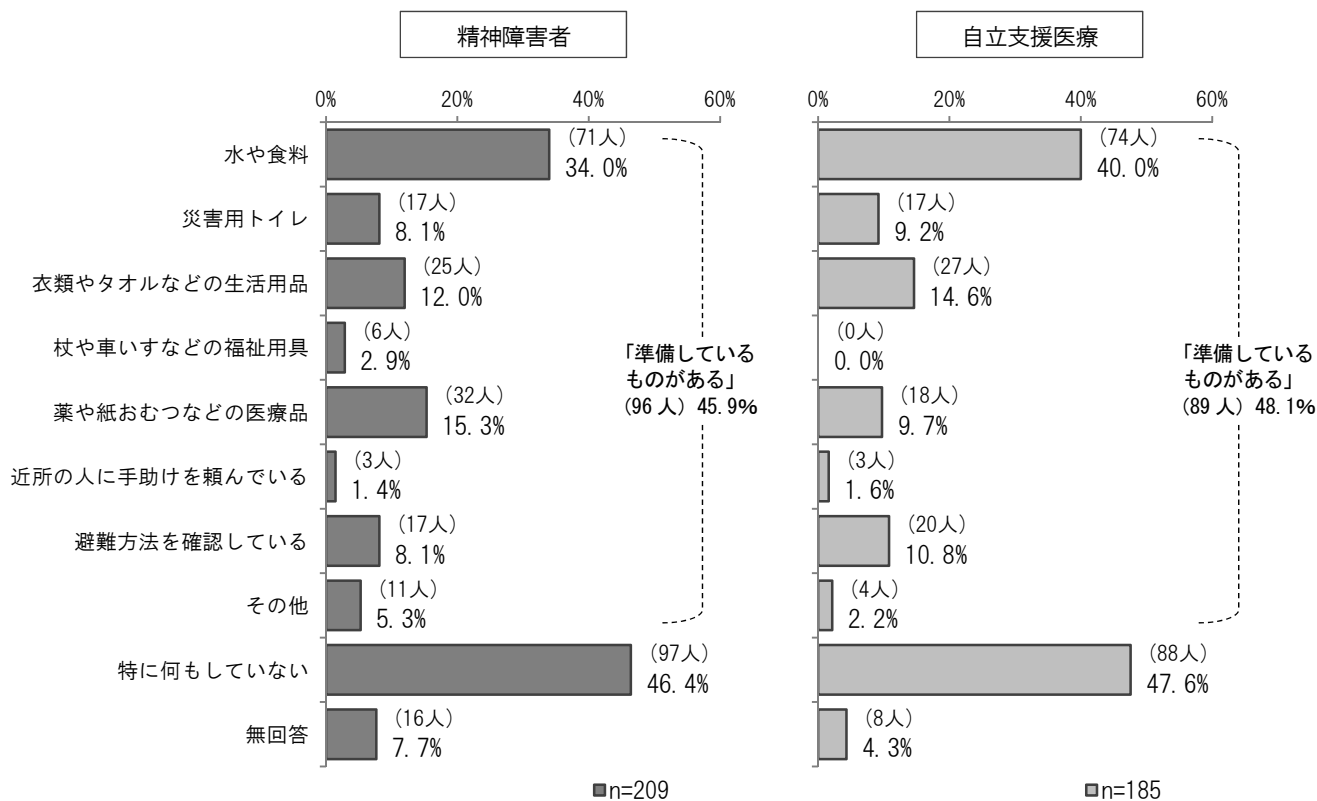
〔自立支援医療〕

- ・避難場所も何も知らない。

問24 災害が起こった時に備え、準備しているものはありますか。（すべてに○）

災害に備えて準備しているものがあると回答した人は『精神障害者』が45.9%、『自立支援医療受給者』が48.1%となっています。その内容は「水や食料」が最も高く、それぞれ34.0%、40.0%となっています。一方、「特に何もしていない」も、それぞれ46.4%、47.6%で高くなっています。

図 災害に備えて準備しているもの（複数回答）



※「準備しているものがある」=100%－「特に何もしていない」－「無回答」

「その他」の主な内容
〔精神障害者〕

- ・市販の防災グッズセット。
- ・大切なものを持ち出せるように、ひとまとめにしている。
- ・ヘルメット、薬、くつ

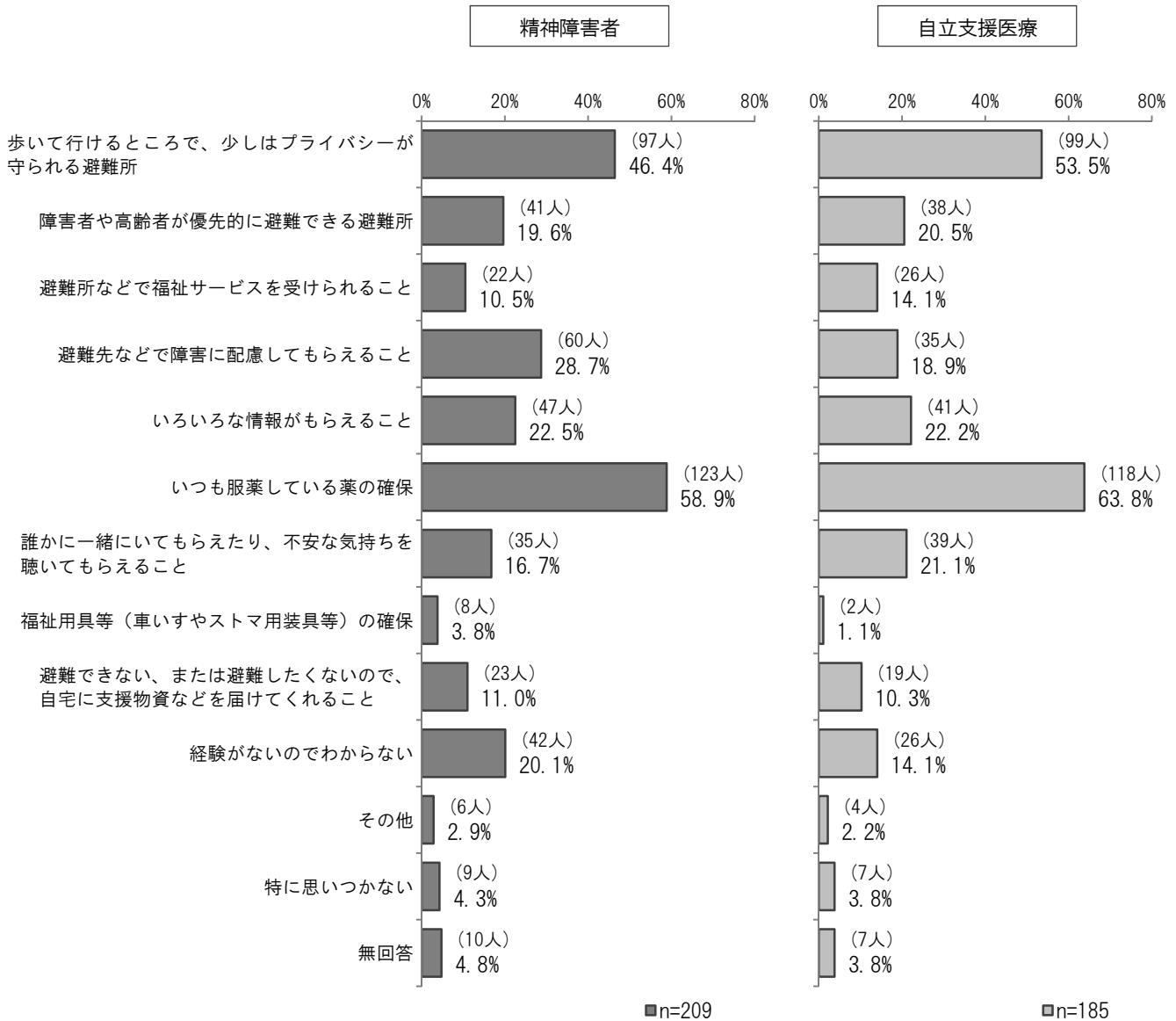
〔自立支援医療〕

- ・くすり、保険証、ランプ
- ・愛猫の生活用品

問 25 あなたは大きな災害があった時にどんな支援があったらいいと思いますか。
（3つまで〇）

大災害時に望む支援は、ともに「いつも服薬している薬の確保」が最も高く、それぞれ58.9%、63.8%、次いで「歩いて行けるところで、少しはプライバシーが守られる避難所」が、それぞれ46.4%、53.5%で高くなっています。

図 大災害時に望む支援（複数回答）



「その他」の主な内容
〔精神障害者〕

- ・ペットの犬も一緒に避難できること。
- ・発達障害なので初対面の人とコミュニケーションがとれない。
- ・障害より症状が重いので医療的配慮がほしい。

〔自立支援医療〕

- ・酸素、呼吸器などの医療的設備が緊急に使える場所。
- ・ひとの多いところは落ち着かない。
- ・ペット（犬やインコ）も一緒に入れる避難場所。

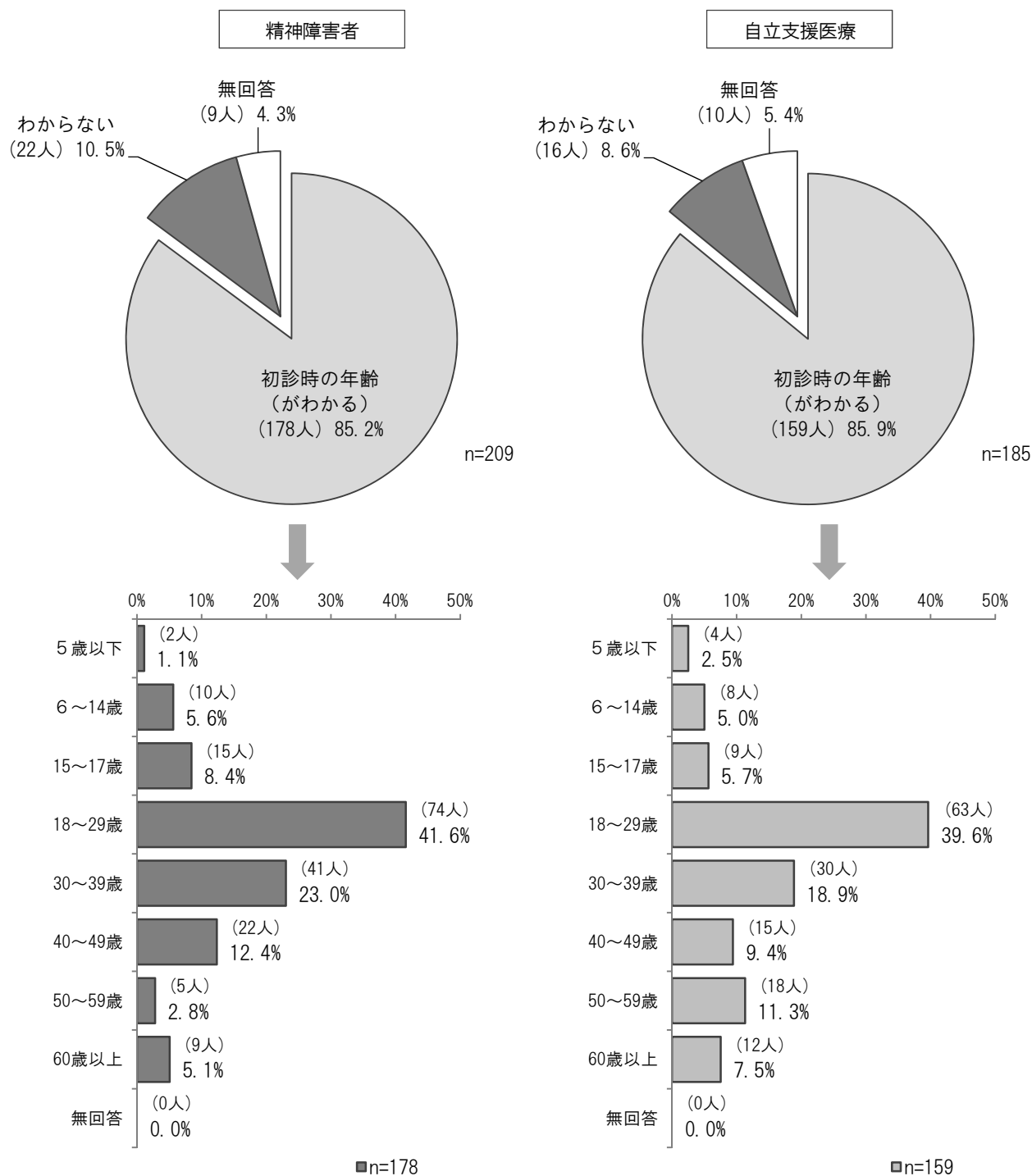
12 精神科・神経科・心療内科の受診について

問 26 あなたが最初に精神科・神経科・心療内科の診療を受けたのは、何歳の時ですか。（1つに○）

「初診時の年齢」に○をつけた方は何歳の時か記入してください。

初診時の年齢がわかると回答した『精神障害者』178人、『自立支援医療受給者』159人の年齢は、ともに「18～29歳」が最も高く、それぞれ41.6%、39.6%、次いで「30～39歳」が、それぞれ23.0%、18.9%となっています。

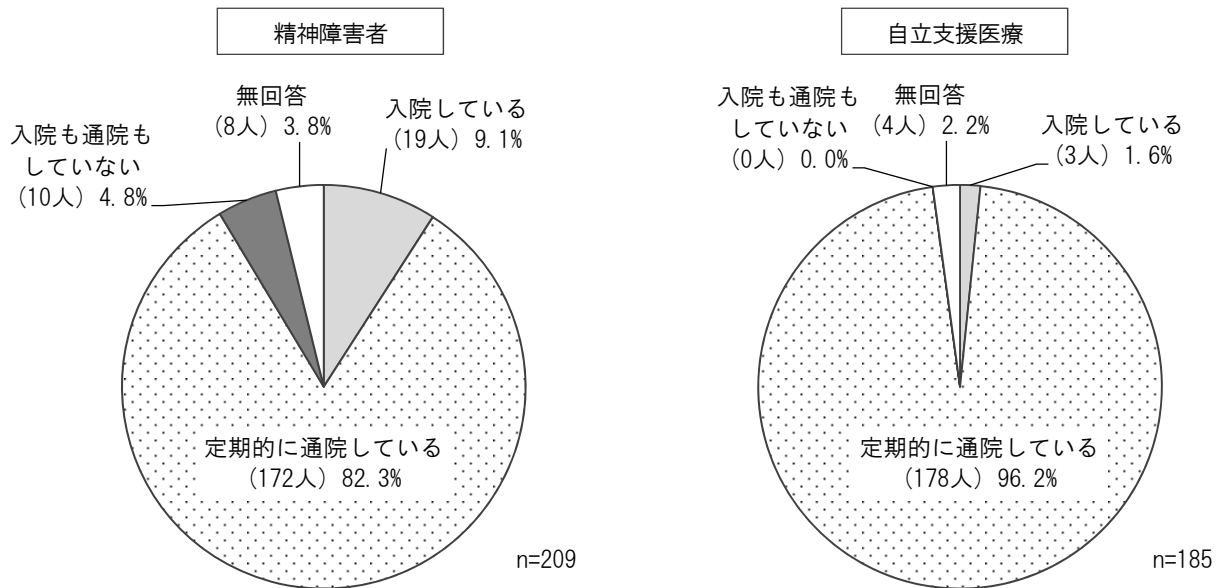
図 初診時の年齢



問 27 あなたの受診状況をお答えください。（1つに○）

受診状況は、「定期的に通院している」は『精神障害者』が82.3%、『自立支援医療受給者』が96.2%となっています。

図 受診状況



**問 27-1 【問 27 で「入院している」と答えた方にお聞きします。】
あなたの現在の入院は何回目ですか。（1つに○）**

入院していると回答した『精神障害者』19人、『自立支援医療受給者』3人の入院回数は、『精神障害者』は「6回以上」が6人、「3～5回目」「2回目」がともに4人となっています。

表 現在の入院回数

	精神障害者		自立支援医療	
	人数	%	人数	%
初めて	3	15.8	1	33.3
2回目	4	21.1	0	0.0
3～5回目	4	21.1	2	66.7
6回以上	6	31.6	0	0.0
わからない	0	0.0	0	0.0
無回答	2	10.5	0	0.0
全 体	19	100.0	3	100.0

問 27-2 【問 27 で「入院している」と答えた方にお聞きします。】
平成 28 年 10 月までの通算の入院期間をお答えください。

入院していると回答した『精神障害者』19人、『自立支援医療受給者』3人の入院期間は、『精神障害者』は「6か月以内」「15～19年」がともに4人、「30年以上」が3人となっています。

表 平成 28 年 10 月までの入院期間

	精神障害者		自立支援医療	
	人数	%	人数	%
6か月以内	4	21.1	1	33.3
7か月～1年以内	1	5.3	0	0.0
1～4年	3	15.8	2	66.7
5～9年	0	0.0	0	0.0
10～14年	0	0.0	0	0.0
15～19年	4	21.1	0	0.0
20～24年	0	0.0	0	0.0
25～29年	1	5.3	0	0.0
30年以上	3	15.8	0	0.0
わからない	1	5.3	0	0.0
無回答	2	10.5	0	0.0
全 体	19	100.0	3	100.0

問 27-3 【問 27 で「入院も通院もしていない」と答えた方にお聞きします。】
理由はなんですか。（2つまで○）

入院も通院もしていないと回答した『精神障害者』10人のその理由は、「お金がかかるから」が1人、「その他」が5人で内容は以下のとおりです。

表 【精神障害者】入院も通院もしていない理由（2つまで）

	精神障害者	
	人数	%
病気が治ったから	0	0.0
面倒くさいから	0	0.0
病気が良くならないから	0	0.0
お金がかかるから	1	10.0
その他	5	50.0
無回答	4	40.0
全 体	10	100.0

「その他」の主な内容
〔精神障害者〕

- ・施設にいるため。
- ・手帳の更新のために診断書を書いていただくために受診。
- ・内科の先生が薬も処方している。
- ・今は落ちついていて仕事にも行けているから（仕事が自分に合っている）。
- ・担当医からの指示がない

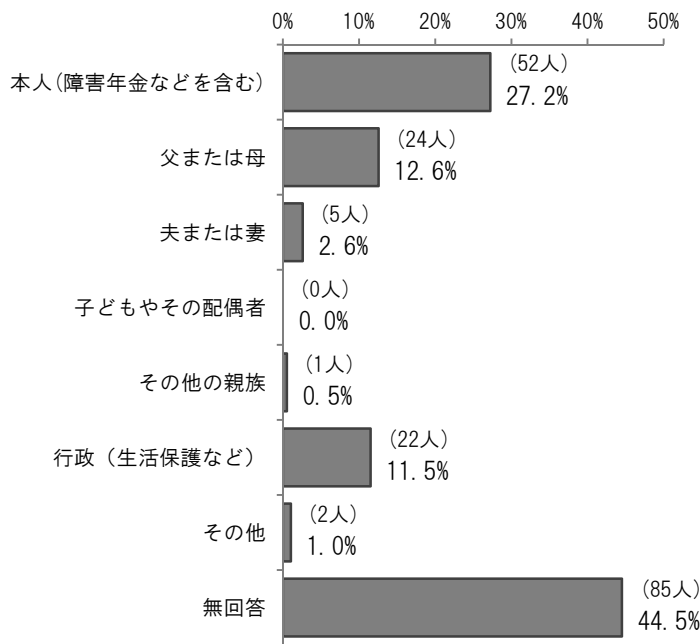
問 28 【問 27 で「入院している」「定期的に通院している」と答えた方にお聞きします。】

精神科・神経科・心療内科へ支払う費用を主に負担しているのはどなたですか。
（最も負担している人、次に負担している人それぞれ1つに○）

入院している、定期的に通院していると回答した『精神障害者』191人、『自立支援医療受給者』181人の主な費用負担者は、ともに「本人（障害年金などを含む）」が最も高く、次いで「父または母」となっています。

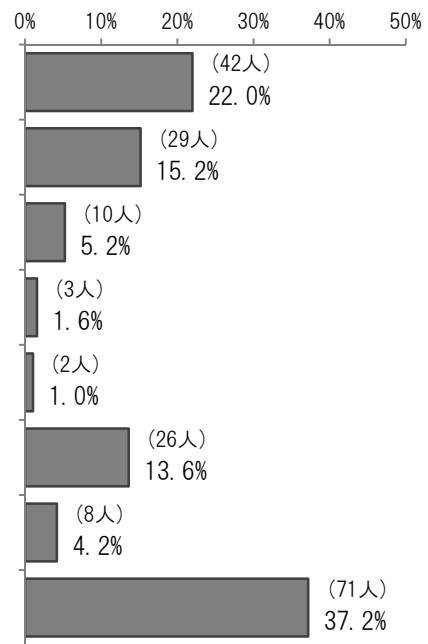
精神障害者

図 〔精神障害者〕最も負担している人



■n=191

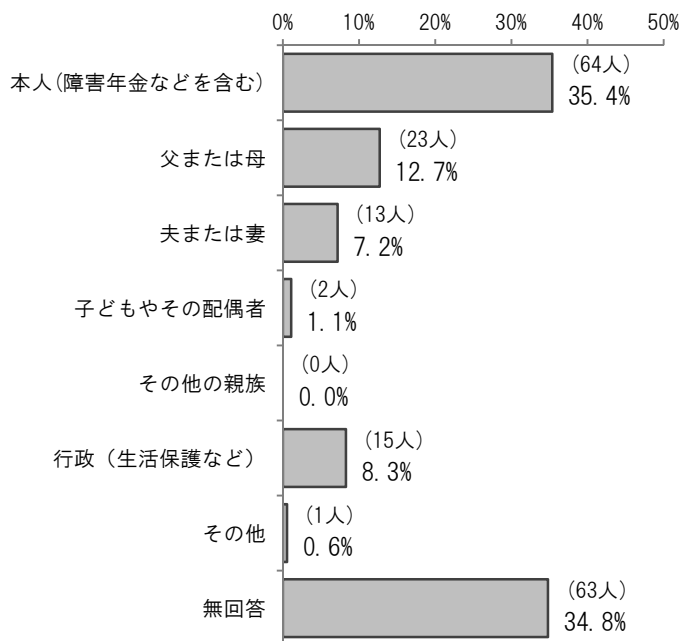
図 2番目に負担している人



■n=191

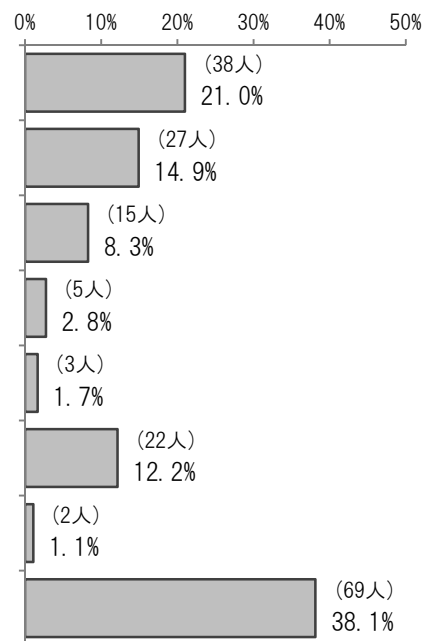
自立支援医療

図 〔自立支援医療〕最も負担している人



■n=181

図 2番目に負担している人

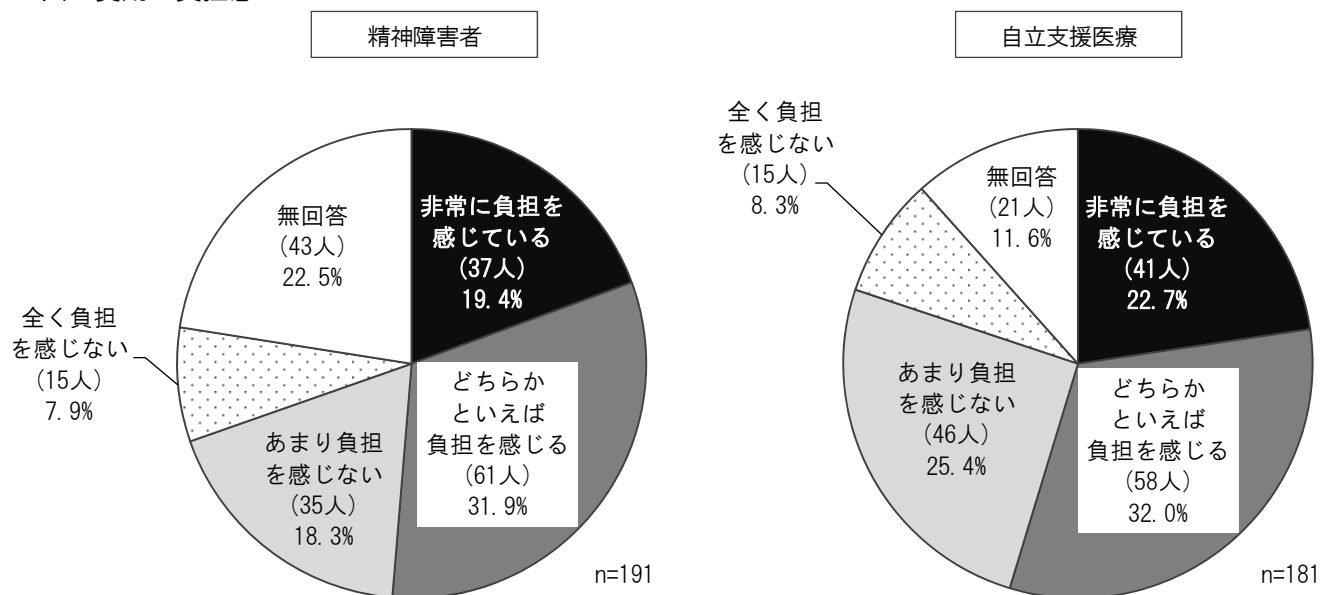


■n=181

問 28-1 【問 28 で費用を「最も負担している人」のお考えについてお聞きします。】
精神科・神経科・心療内科に支払っている費用の負担感について、次の中から
お答えください。（1つに〇）

入院している、定期的に通院していると回答した『精神障害者』191人、『自立支援医療受給者』181人の費用の負担感は、「非常に負担を感じている」「どちらかといえば負担を感じる」を合わせると『精神障害者』が51.3%、『自立支援医療受給者』が54.7%となっています。

図 費用の負担感

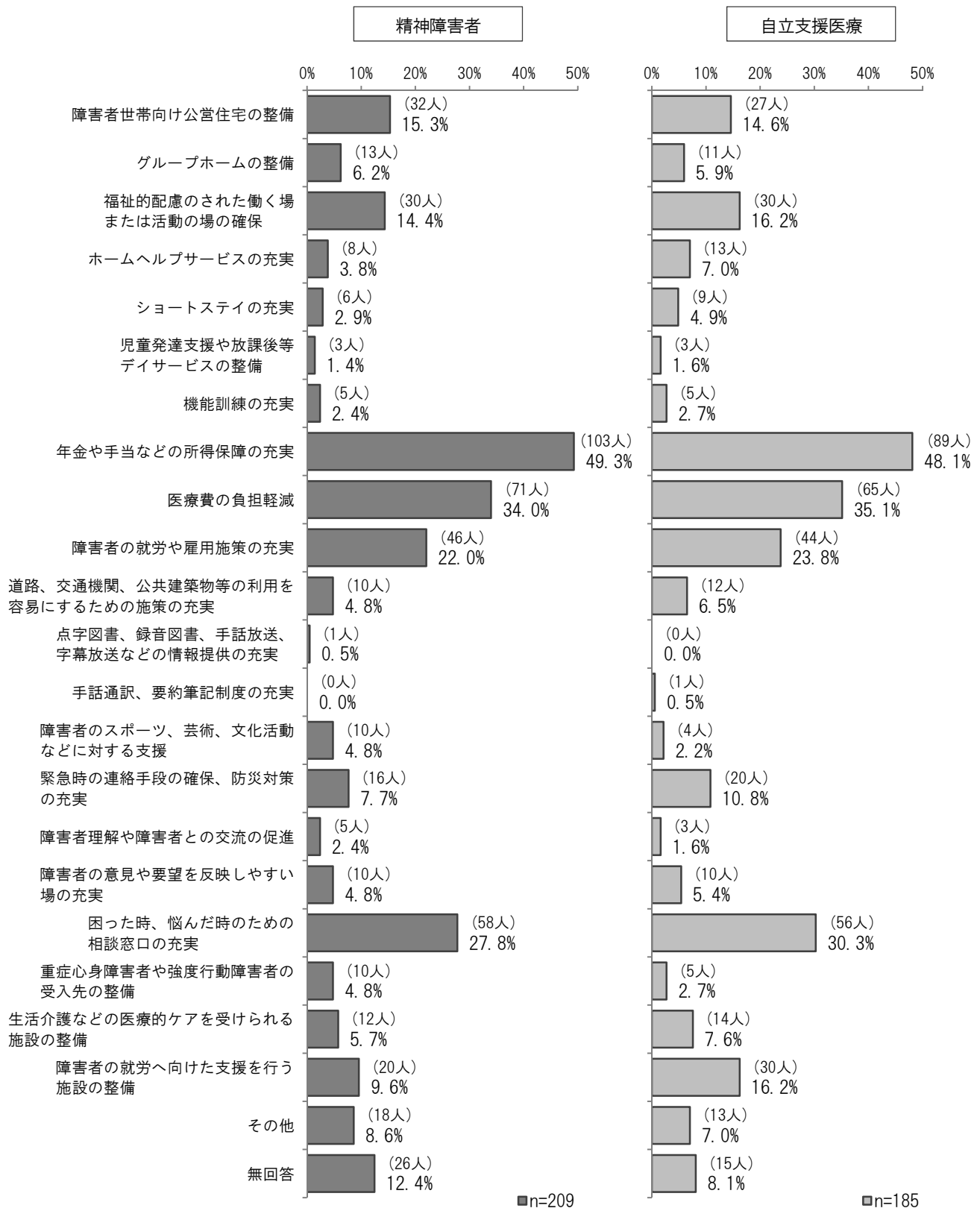


13 障害者福祉施策への要望について

問 29 障害者福祉施策に対して望むこと、取り組んでほしいことはありますか。
（3つまで○）

障害者福祉施策に対して望むこと、取り組んでほしいことは、ともに「年金や手当などの所得保障の充実」が最も高く、次いで「医療費の負担軽減」「困った時、悩んだ時のための相談窓口の充実」が上位となっています。

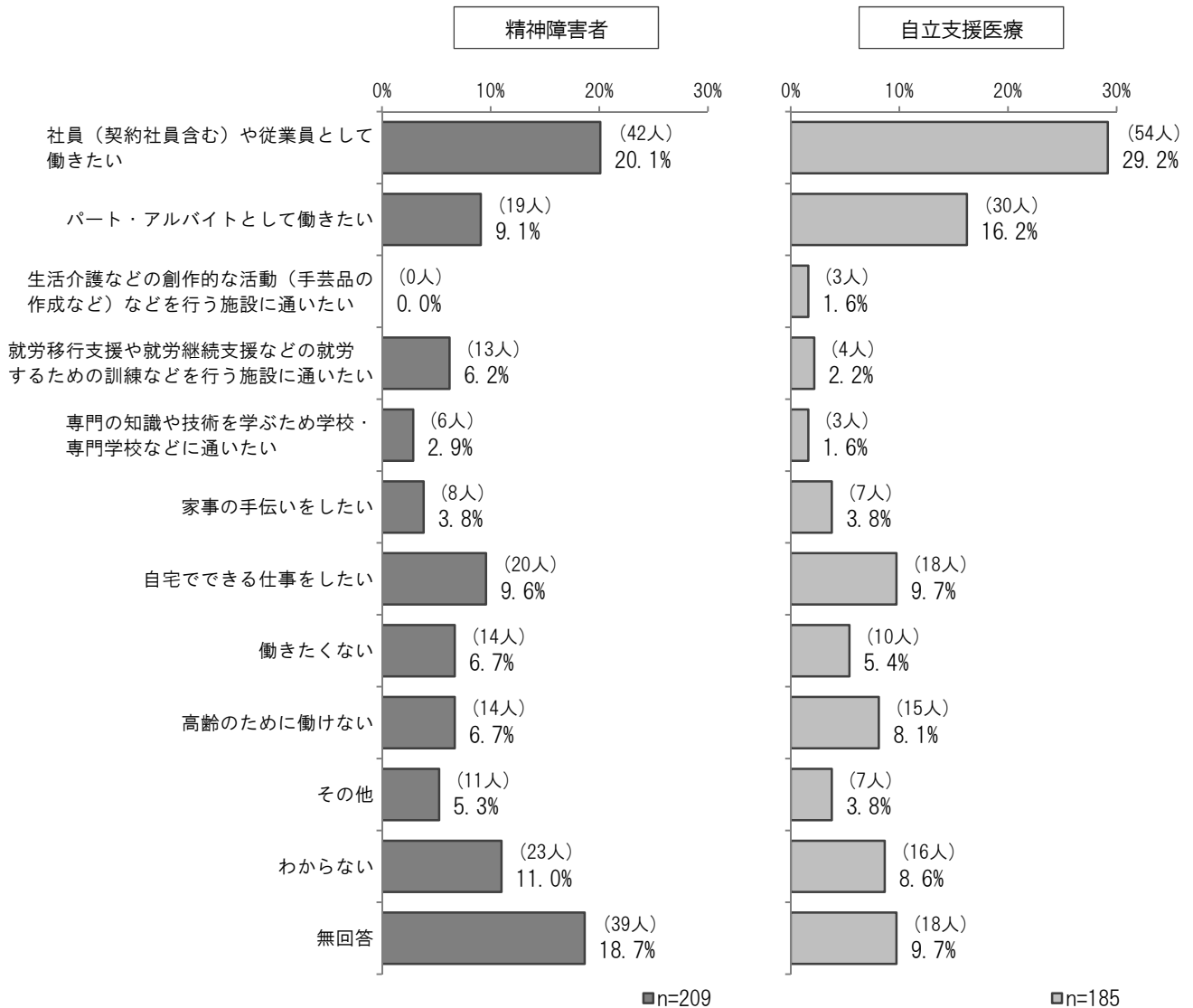
図 障害者福祉施策に対して望むこと、取り組んでほしいこと（複数回答）



問30 あなたは、今後（未成年の方は、教育課程が修了した後）どのようにしたいですか。（1つに○）

今後どのようにしたいかは、ともに「社員（契約社員含む）や従業員として働きたい」が最も高く、それぞれ20.1%、29.2%、次いで『精神障害者』は「自宅でできる仕事をしたい」が9.6%、『自立支援医療受給者』は「パート・アルバイトとして働きたい」が16.2%となっています。

図 今後どのようにしたいか

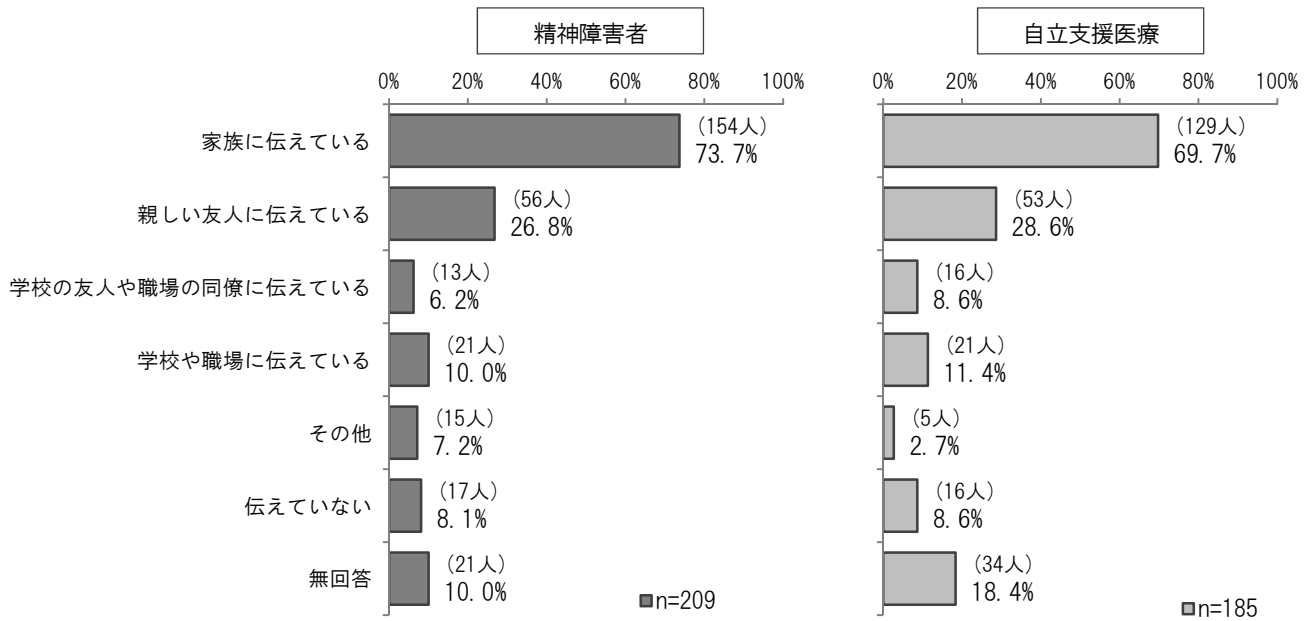


14 障害や病気があることについて

問 36 あなたは、障害者手帳を持っていること、または障害や病気があることを周囲に伝えてありますか。（すべてに○）

障害や病気があることを周囲に伝えているかは、ともに「家族に伝えている」が最も高く、それぞれ73.7%、69.7%となっています。

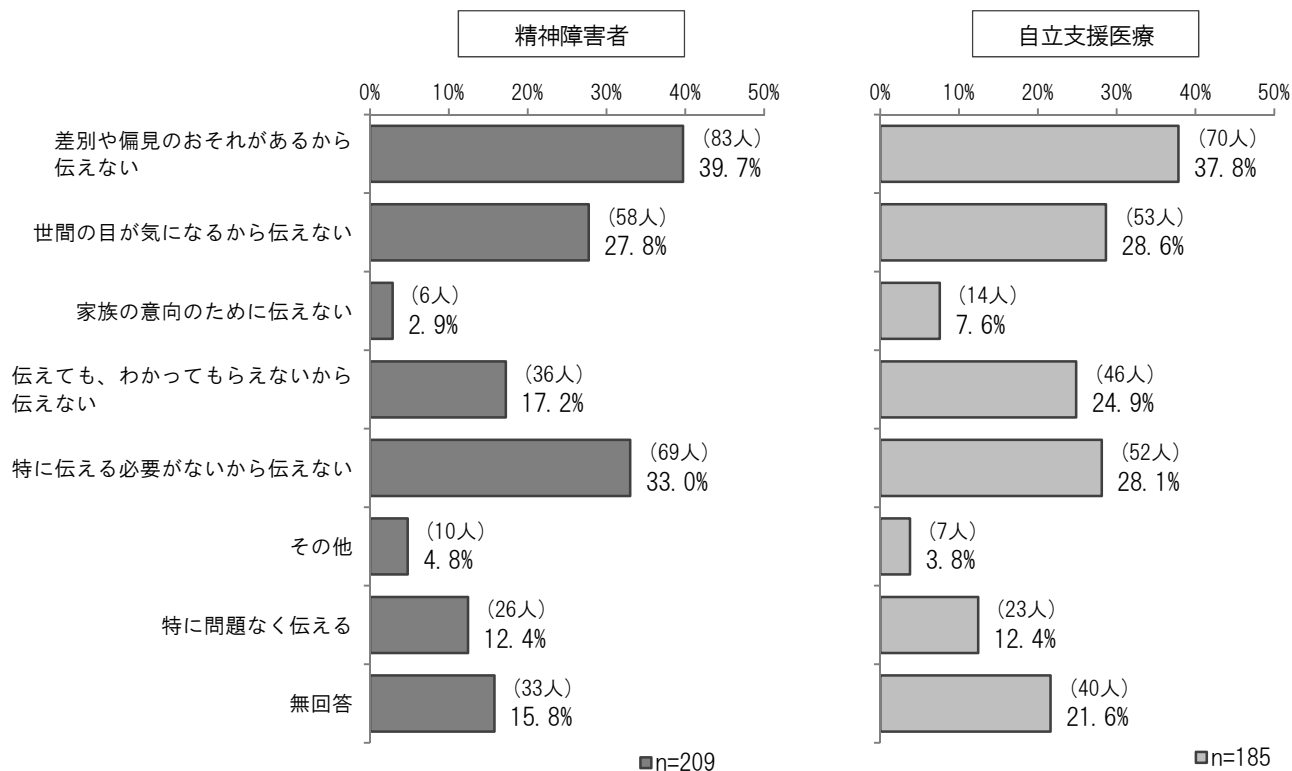
図 障害や病気があることを周囲に伝えているか（複数回答）



問 37 あなたが障害者手帳を持っていること、または障害や病気があることを周囲に伝えないことはありますか。また、それはどんな理由ですか（すべてに○）

周囲に伝えない理由は、ともに「差別や偏見のおそれがあるから伝えない」が最も高く、それぞれ 39.7%、37.8%、次いで『精神障害者』は「特に伝える必要がないから伝えない」が 33.0%、『自立支援医療受給者』は「世間の目が気になるから伝えない」が 28.6%となっています。

図 障害や病気があることを周囲に伝えないことがあるか、またその理由（複数回答）



問 38 この調査を通じて、書ききれなかったことや、ご意見、ご感想などがありましたら、自由にお書きください。（ご家族の方がお書きになっていただいても構いません。）

【抜粋（原文のとおり）】

- ・精神障害ということへの差別感が仕事を探す上で強く感じます。障害を伝えると不採用になる事が多すぎます。自治体の方で障害者でも働きやすい求人を多くして頂きたいです。また手帳の更新はもう少し簡素化して期限も延ばして欲しいです。（3級、52歳）
- ・外見で判断しないでほしい。見た目は普通に見えても精神的に苦しんでいる。必死に努力しているのに、相手側（行政、世間）の価値観を押しつけられると、焦り自己嫌悪になる。理解してくれとは言わないが、そっとしてほしい。（3級、42歳）
- ・障害について「普通に見える」と言われ、職場では風当たりがどうしても強くなってしまう。障害者が正規に長く働けるように、もっと働きかけて欲しい。（2級、46歳）
- ・社会不安障害のある私のような者に対する支援が何もないように感じています。人との交流も大切なのは理解していますが、大勢の人に囲まれるのが苦手な人もいる事も分かって欲しいです。（2級、55歳）
- ・私は統合失調症を患っていますが、人によって症状も様々ですし、個人で生活できる収入と無理のない労働環境があれば、保護1される立場から納税する側になる事ができると思います。もっと個人個人に合わせた福祉サービスが必要だと思います。（自立支援医療、45歳）
- ・自立支援制度も障害者保健福祉手帳の制度も知りませんでした。知らずに12年間、病気のことばかり続けて生きてきました。偶然、お子さんがわたしと同じ病気のお母さんが同じ職場となり、これらの制度のことを教えてもらいました。（自立支援医療、41歳）
- ・こういう病気になった事を友人に話すとそれ以来友人から連絡がなくなりどこへ行くのもほとんど1人です。近所の人でも私の病気を知っていて、わざと避けるようにしています。（自立支援医療、63歳）
- ・現在、B型の作業所に通所していますが、工賃の半分は、交通費で、消えてなくなります。今、A型にステップアップすることを考えていますが、A型でもやはり、交通費の出ない、作業所が殆んどです。障害者年金を頂いているので、なんとか、生活できていますが、できることなら、作業所で交通費が出ることを望んでいます。（自立支援医療、32歳）
- ・自立支援のおかげで医療費負担の面で大変助かっています。少子高齢化社会で医療費の負担が自治体にとって大きな問題になっているので、どこまでこの制度に甘えて良いのかなやむところですが、この制度がないと、定期的に通院することが（経済的に）むずかしく、きちんとした社会人生活を送ることができなくなるのでやはり申請しつづけると思います。（自立支援医療、47歳）